

南丹市の路線バス交通に関する アンケート調査結果報告書

平成 28 年 8 月

南丹市 企画政策部 地域振興課

「南丹市の路線バス交通に関するアンケート調査」について

1 実施目的

南丹市内には市営バスや民間の路線バスなど複数のバス交通が存在し、通勤・通学・買物や通院など日常生活の移動手段として利用されている。しかし、元々人口密度の少ない地域を運行していることに加え、自家用車の普及が進んだことや人口減少、高齢化など様々な要因により、路線バスの利用者は年々減少している状況にある。

このような状況を踏まえ、南丹市における公共交通のあり方を考え、地域内のバス交通をより便利で使いやすいものとし、将来に向けて持続可能な公共交通を構築するため、路線バスの利用実態やニーズに関するアンケート調査を実施した。

2 調査概要

調査対象地域	市内旧4町（園部町、八木町、日吉町、美山町）
調査対象者	基準日において本市に住民票を有している世帯主および世帯員のうち、満15歳以上の者
抽出方法	園部町350世帯、八木町250世帯、日吉町200世帯、美山町200世帯の調査世帯を無作為抽出
抽出数	1,000世帯
調査方法	郵送による調査表の送付・回収
調査時期	平成27年11月1日～11月20日（20日間）
調査内容	市営バスの利用の有無、利用ニーズ及び日常生活の移動実態等
回答世帯数	460世帯（回収率46%）・827人

3 集計結果

① 日常における移動手段について

アンケート回答者のうち、「運転免許を保有している」と回答した人は8割を超過し、移動目的（通勤・通学・買い物・通院・その他）の項目に共通して、自家用車を移動手段としている人（「自家用車」・「家族送迎」を選択した人）が最も多かった。

なお、移動目的のうち通勤、通院、買い物、その他では自家用車の使用がいずれも過半数を占めていた（通勤64.5%、買い物57.9%、通院58.6%、その他50.8%）。通学においては家族送迎が多くの部分を占めており（23.2%）、外出目的のほとんどの場面で自家用車が使われている。

② 日常の買い物について

日常の買い物をする地域については、「市内」と回答した人が70%以上を占めた（市内のうち旧町内43.1%、旧町外28.2%）。「市内でよく利用する店」については、居住する旧町内の店を使用しつつ、日吉エリアではマツモトやコメリ、フレッシュなど園部町の市街地の店を使用する人も多かった。八木では市外の店の利用が多く、亀岡市の店舗を使用されていることが考えられる。

また、「買い物時の不便さ」を感じるかという質問については「不便さを感じる」と回答した人が24.0%であり、アンケート調査を行った現在では不便さを感じていない人が多かった。しかし、日吉・美山地域では「不便さを感じる」の回答者が28.6%（日吉）、38.0%（美山）であるため、旧町で隔たりのある結果となっている。また、自由記述欄で「現在は車の運転が可能だが、今後高齢やその他の理由により車を運転できなくなったときに不安を感じる」、「車を使わなくなったら市営バス、又は家族送迎を利用する」旨の意見が多くあった。

③ 市内路線バスの利用状況・問題点について

「市内路線バスを利用している」人は12.1%であった。市内路線バスを利用する人のうち、利用頻度については「ほぼ毎日使用する」が12.2%、「週に2~3回使用する」が14.4%、「月に1~2回」が46.7%であり、その他（2、3ヶ月に1回・半年に1回等）が26.7%であった。

市営バスを利用する理由については「ほかに移動手段がないから」が最も多く（24.7%）、次いで「近くに停留所があるから」「行きたい場所に運行するから」が同率（20.5%）であった。また、「駐車場の心配をしなくてもよいから」の回答が7.2%あり、自家用車が交通手段の大部分を占める南丹市においても、公共交通が必要とされていることがうかがえる。

市営バスの問題点については「運行本数が少ない」の回答が44.8%であった。また、「運行時間帯が短い」「鉄道との乗り継ぎが悪い」が13.8%であり、「運賃が高い」が14%であった。

④ 市内路線バスを利用しない理由・今後の利用の有無について

「市内路線バスを利用していない人」は、81.1%であった。「市内路線バスを利用していない人」のうち、利用しない理由として最も多かったのが「自家用車、自転車、バイクなどがあり、バスを利用しなくても済むから」（65.7%）であった。また、「家族の送迎を利用するから」（10.1%）が次いで多く、自家用車の利用が市営バスを利用しない理由の多くを占めていた。他に、「近くに停留所が無いから」（3.2%）「行きたい場所に運行しないから」（6.0%）「利用したい時間帯にバスが運行していないから」（7.0%）「乗継などが複雑で利用しづらいから」（2.6%）の項目への回答が多かった。

市内路線バスの将来の利用の有無については、「利用すると思う」と答えた人が72.7%であり、「利用しないと思う」と答えた回答者を上回った。「利用しないと思う理由」については「家族送迎を利用するから」が全体の31.2%であり、次いで「利用したい時間帯にバスが運行していないから」(15.8%)、「行きたい場所に運行しないから」(11.6%)が続いた。

4 本調査のまとめ

上記の結果から、路線バスの利用率が低い背景としては、自家用車等の保有、家族送迎により、路線バスを利用しなくても移動可能な環境となっている世帯が多いことがあげられる。また、路線バスを利用している人・利用していない人両方で、バスの本数が少ない、運行時間帯が短い、乗継が複雑、鉄道との乗り継ぎが悪いといった、利便性の低さや乗り換えの不透明さが、路線バスが移動手段とならないことの要因であることが分かった。これらのことから、路線バスの便数・利便性は運行地域の人口密度と密接な関係があるという前提があるが、乗継の複雑さや運行時間帯・本数の見直し等を行い、利便性の向上を目指せば、路線バスの利用を増やすことは可能であると考えられる。

南丹市内路線バスの利用状況としては、81.1%の住民が「利用していない」と回答したが、81.1%の市民が「今後路線バスを使用する可能性がある」とも捉えることができる。これら公共交通の顧客になりうる住民へ向けて、利用促進策を発信していく必要がある。

5 調査結果の活用

南丹市においては、人口が減っていくなかで持続可能な公共交通体系の構築を行う必要がある、そのためには現在の公共交通体系の欠点を改善させた新しい公共交通のあり方を検討し導入していかなければならない。特に路線バス、公共交通の利用促進を図るには、「今後路線バスを使用する可能性がある」住民に向けて、¹モビリティ・マネジメント(MM)の取り組みにより、自発的な行動の変化を導いていく必要がある。具体的には車中心の生活から、公共交通も選択できる生活にシフトさせていくことが重要であると考えられる。本調査は現状の市内の交通手段や実態、路線バスの問題点や将来の需要を調査し、市民ニーズや提案の確認資料となるため、今後新しい公共交通のあり方を検討し、MMの取り組みを実施していく上での貴重な判断材料として活用していくこととする。

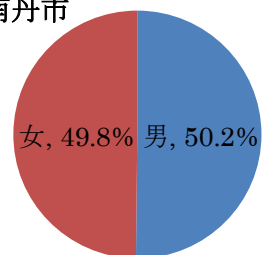
¹ モビリティ・マネジメント モビリティ(交通)をマネジメント(改善)する取り組み。それぞれの地の交通を、人と組織と社会の活力を通して、少しずつ「改善」していく取り組みを指す。(「モビリティをマネジメントする コミュニケーションによる交通戦略」学芸出版社)

問 1 回答者の属性

【性別】

	人数	構成比
男	415 人	50.2%
女	412 人	49.8%
合計	827 人	100.0%

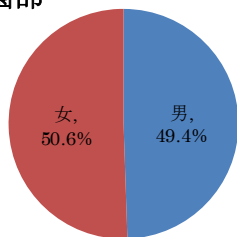
南丹市



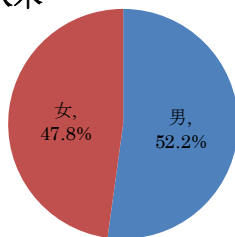
【旧町内訳】

	園部		八木		日吉		美山	
男	134 人	49.4%	120 人	52.2%	81 人	49.4%	80 人	49.4%
女	137 人	50.6%	110 人	47.8%	83 人	50.6%	82 人	50.6%
合計	271 人	100.0%	230 人	100.0%	164 人	100.0%	162 人	100.0%

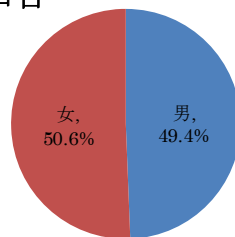
園部



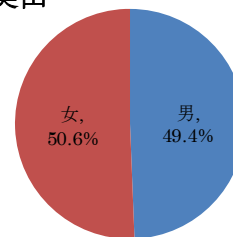
八木



日吉



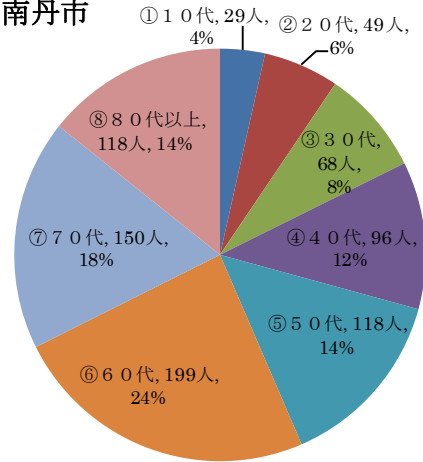
美山



【年代】

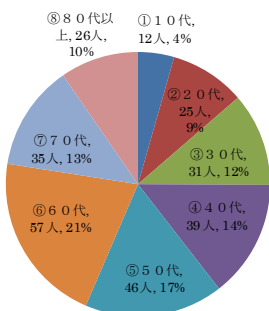
	人数	構成比
①10代	29人	3.5%
②20代	49人	5.9%
③30代	68人	8.2%
④40代	96人	11.6%
⑤50代	118人	14.3%
⑥60代	199人	24.1%
⑦70代	150人	18.1%
⑧80代以上	118人	14.3%
合計	827人	100.0%

南丹市

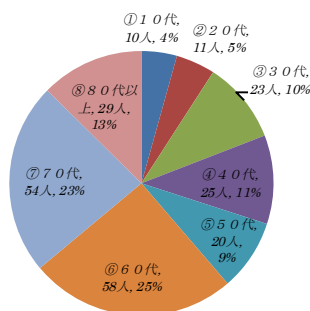


【旧町内訳】

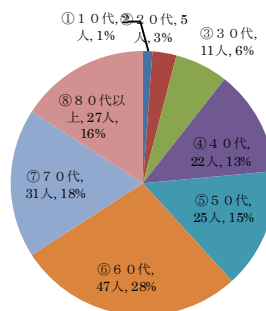
	園部		八木		日吉		美山	
①10代	12人	4.4%	10人	3.5%	2人	3.5%	5人	3.5%
②20代	25人	9.2%	11人	5.9%	5人	5.9%	8人	5.9%
③30代	31人	11.4%	23人	8.3%	11人	8.3%	4人	8.3%
④40代	39人	14.4%	25人	11.6%	22人	11.6%	11人	11.6%
⑤50代	46人	17.0%	20人	14.3%	25人	14.3%	28人	14.3%
⑥60代	57人	21.0%	58人	24.0%	47人	24.0%	38人	24.0%
⑦70代	35人	12.9%	54人	18.1%	31人	18.1%	31人	18.1%
⑧80代以上	26人	9.6%	29人	14.3%	27人	14.3%	37人	14.3%
合計	271人	100.0%	230人	100.0%	170人	100.0%	162人	100.0%



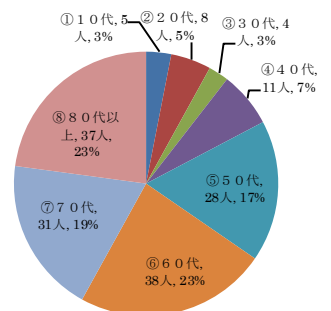
園部



八木



日吉

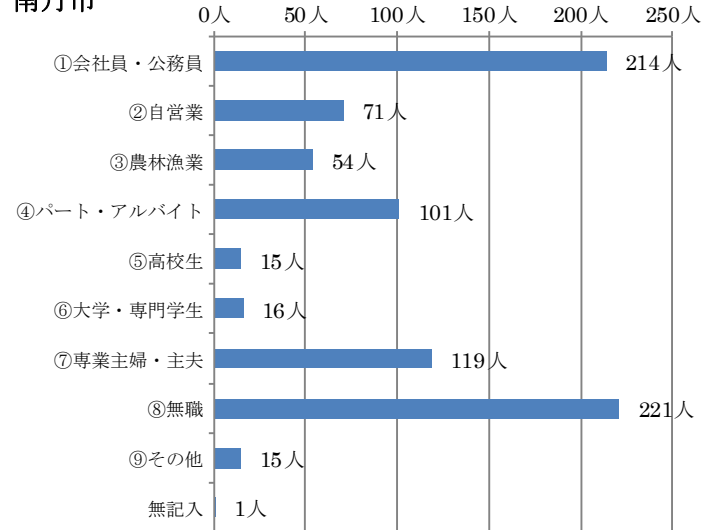


美山

【職業】

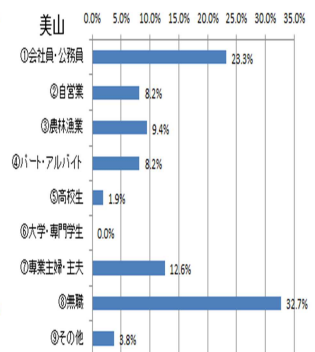
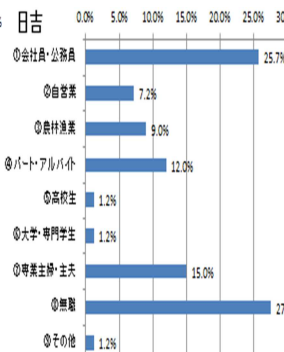
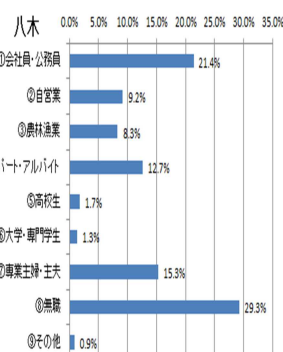
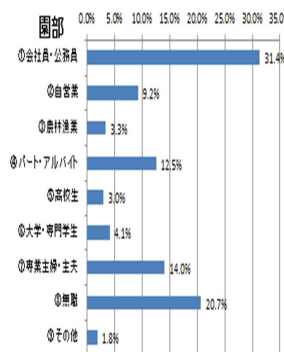
	職業	構成比
①	会社員・公務員	214人 25.9%
②	自営業	71人 8.6%
③	農林漁業	54人 6.5%
④	パート・アルバイト	101人 12.2%
⑤	高校生	15人 1.8%
⑥	大学・専門学生	16人 1.9%
⑦	専業主婦・主夫	119人 14.4%
⑧	無職	221人 26.7%
⑨	その他	15人 1.8%
	無記入	1人 0.1%
	合計	827人 100.0%

南丹市



【旧町内訳】

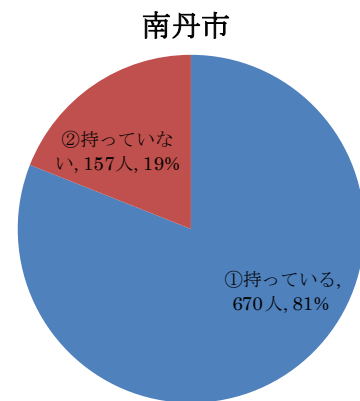
	園部		八木		日吉		美山	
①	85人	31.4%	49人	21.4%	43人	25.7%	37人	23.3%
②	25人	9.2%	21人	9.2%	12人	7.2%	13人	8.2%
③	9人	3.3%	19人	8.3%	15人	9.0%	15人	9.4%
④	34人	12.5%	29人	12.7%	20人	12.0%	13人	8.2%
⑤	8人	3.0%	4人	1.7%	2人	1.2%	3人	1.9%
⑥	11人	4.1%	3人	1.3%	2人	1.2%	0人	0.0%
⑦	38人	14.0%	35人	15.3%	25人	15.0%	20人	12.6%
⑧	56人	20.7%	67人	29.3%	46人	27.5%	52人	32.7%
⑨	5人	1.8%	2人	0.9%	2人	1.2%	6人	3.8%
	合計	271人 100.0%	229人 100.0%	167人 100.0%	159人 100.0%			



問2 運転免許の有無

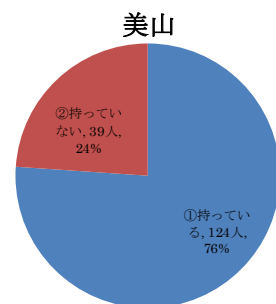
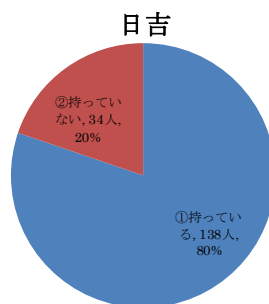
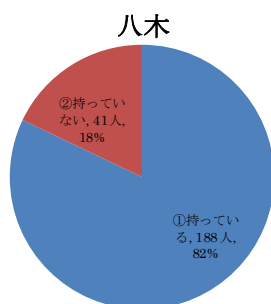
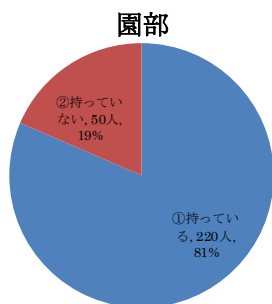
【運転免許の有無】

	人数	構成比
①持っている	670 人	81.0%
②持っていない	157 人	19.0%
合計	827 人	100.0%



【旧町内訳】

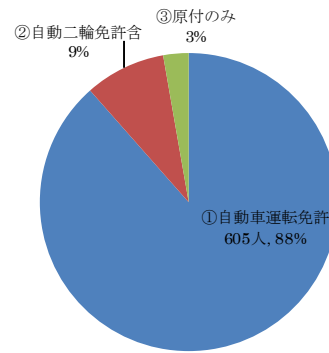
	園部		八木		日吉		美山	
①持っている	220 人	81.5%	188 人	82.1%	138 人	80.2%	124 人	76.1%
②持っていない	50 人	18.5%	41 人	17.9%	34 人	19.8%	39 人	23.9%
合計	270 人	100.0%	229 人	100.0%	172 人	100.0%	163 人	100.0%



南丹市

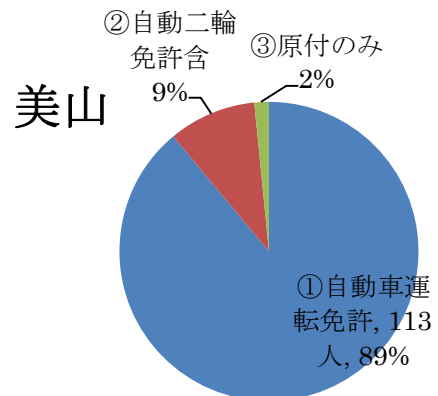
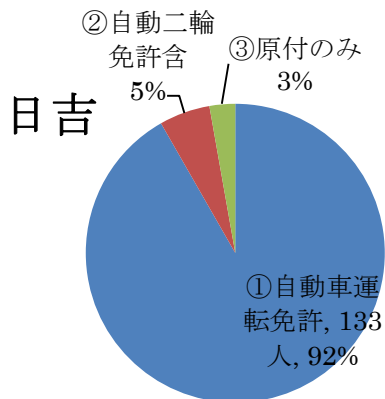
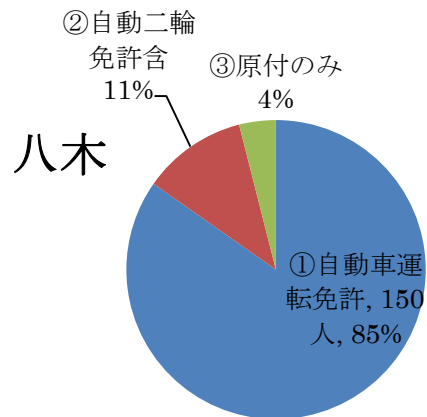
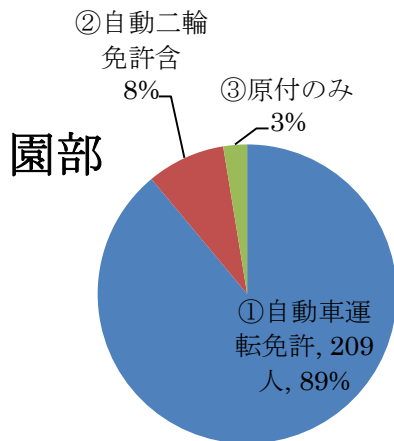
【運転免許の種類(複数回答可)】

	人数	構成比
①自動車運転免許	605人	88.5%
②自動二輪免許含	60人	8.8%
③原付のみ	19人	2.8%
合計	684人	100.0%



【旧町内訳】

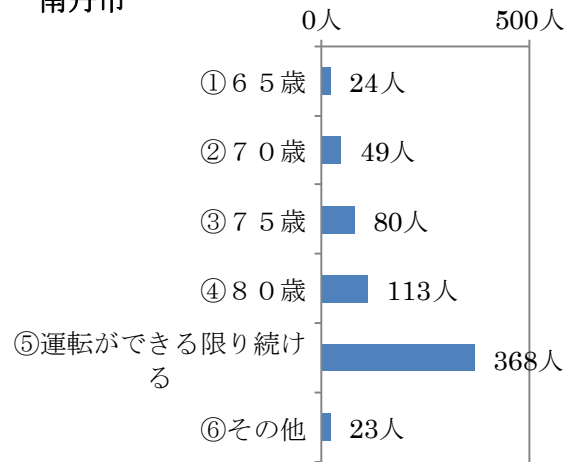
	園部		八木		日吉		美山	
①自動車運転免許	209人	77.4%	150人	88.5%	133人	88.5%	113人	88.5%
②自動二輪免許含	20人	7.4%	20人	8.8%	8人	8.8%	12人	8.8%
③原付のみ	6人	2.2%	7人	2.8%	4人	2.8%	2人	2.8%
合計	235人	87.0%	177人	100.0%	145人	100.0%	127人	100.0%



【何歳まで運転を続けようと思うか】

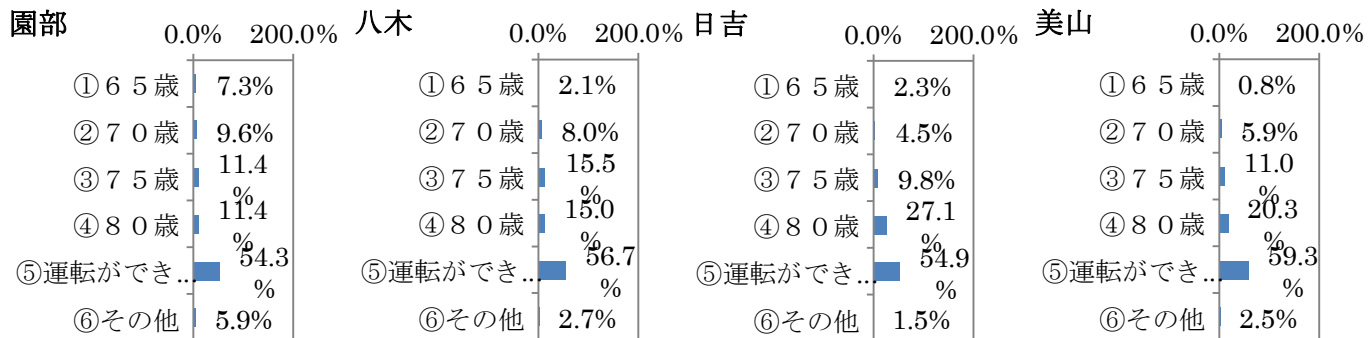
	人数	構成比
①65歳	24人	3.7%
②70歳	49人	7.5%
③75歳	80人	12.2%
④80歳	113人	17.2%
⑤運転ができる限り続ける	368人	56.0%
⑥その他	23人	3.5%
合計	657人	100.0%

南丹市



【旧町内訳】

	園部		八木		日吉		美山	
①65歳	16人	7.3%	4人	2.1%	3人	2.3%	1人	0.8%
②70歳	21人	9.6%	15人	8.0%	6人	4.5%	7人	5.9%
③75歳	25人	11.4%	29人	15.5%	13人	9.8%	13人	11.0%
④80歳	25人	11.4%	28人	15.0%	36人	27.1%	24人	20.3%
⑤運転ができる限り	119人	54.3%	106人	56.7%	73人	54.9%	70人	59.3%
⑥その他	13人	5.9%	5人	2.7%	2人	1.5%	3人	2.5%
合計	219人	100.0%	187人	100.0%	133人	100.0%	118人	100.0%



【何歳まで運転を続けようと思うか】

南丹市全体では、過半数（56.0%）の人が「運転ができなくなるまで」と回答した。また、「80歳」と答えた人の割合も高く、旧町ごとで見ると日吉町、美山町の割合が高かった。

問3 日常生活での移動手段について

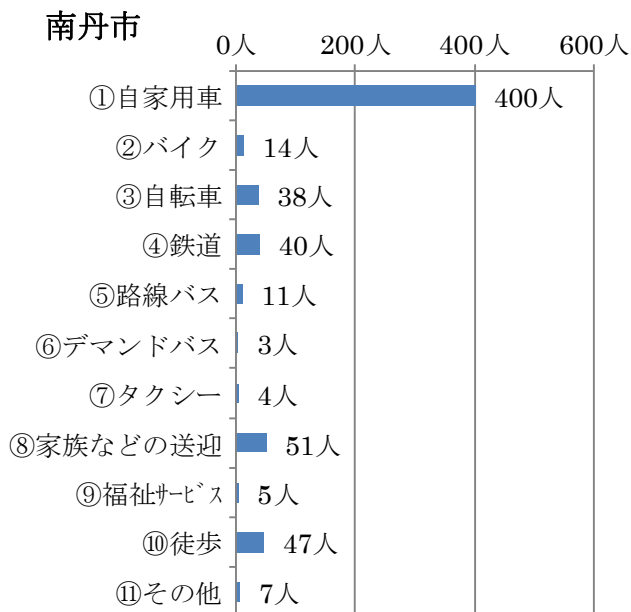
【日常生活での移動手段】

日常生活の移動手段（通勤・通学・買い物・通院その他）に関しては、「自家用車を利用している」とした人の割合が南丹全体では通学以外過半数を超えていた。自家用車を除いては家族送迎が次いで多く、二つを合算すると通学を除いたすべての用途で6~70%の回答者が自家用車で移動していることが分かった。旧町ごとに見ると、園部・八木地域に比べ、美山・日吉地域が日常の移動手段（通勤・買い物・通院）について、自家用車を使用する割合が高いことが判明した。

通学においては「鉄道」や「路線バス」の利用割合も多かったが、最も多い回答は「家族などの送迎」であり、通学においても自家用車の依存率が高いことが分かった。

【通勤の移動手段(複数回答可)】(回答数 620)

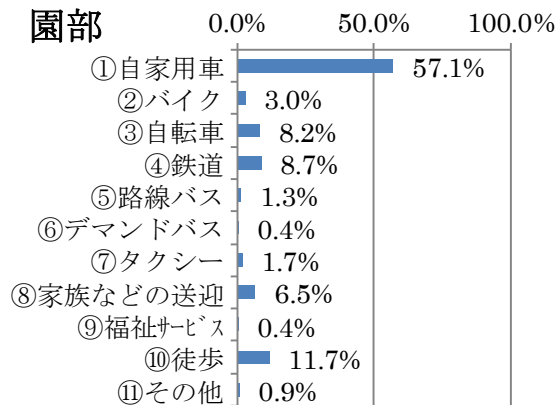
	通勤	構成比
①自家用車	400人	64.5%
②バイク	14人	2.3%
③自転車	38人	6.1%
④鉄道	40人	6.5%
⑤路線バス	11人	1.8%
⑥デマンドバス	3人	0.5%
⑦タクシー	4人	0.6%
⑧家族などの送迎	51人	8.2%
⑨福祉サービス	5人	0.8%
⑩徒歩	47人	7.6%
⑪その他	7人	1.1%
合計	620人	100.0%



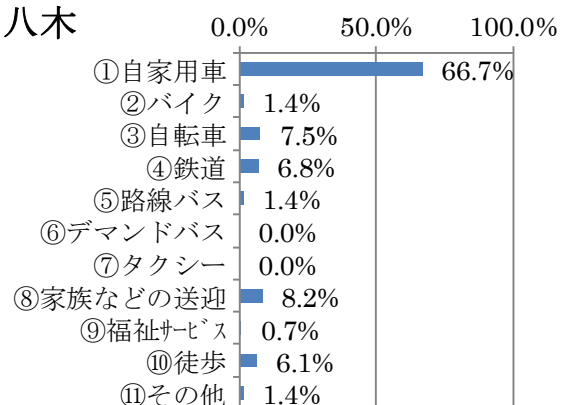
【旧町内訳:通勤】

通勤	園部		八木		日吉		美山	
①自家用車	132人	57.1%	98人	66.7%	87人	68.5%	83人	72.2%
②バイク	7人	3.0%	2人	1.4%	2人	1.6%	3人	2.6%
③自転車	19人	8.2%	11人	7.5%	7人	5.5%	1人	0.9%
④鉄道	20人	8.7%	10人	6.8%	8人	6.3%	2人	1.7%
⑤路線バス	3人	1.3%	2人	1.4%	2人	1.6%	4人	3.5%
⑥デマンドバス	1人	0.4%	0人	0.0%	0人	0.0%	2人	1.7%
⑦タクシー	4人	1.7%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
⑧家族などの送迎	15人	6.5%	12人	8.2%	11人	8.7%	13人	11.3%
⑨福祉サービス	1人	0.4%	1人	0.7%	2人	1.6%	1人	0.9%
⑩徒歩	27人	11.7%	9人	6.1%	6人	4.7%	5人	4.3%
⑪その他	2人	0.9%	2人	1.4%	2人	1.6%	1人	0.9%
合計	231人	100.0%	147人	100.0%	127人	100.0%	115人	100.0%

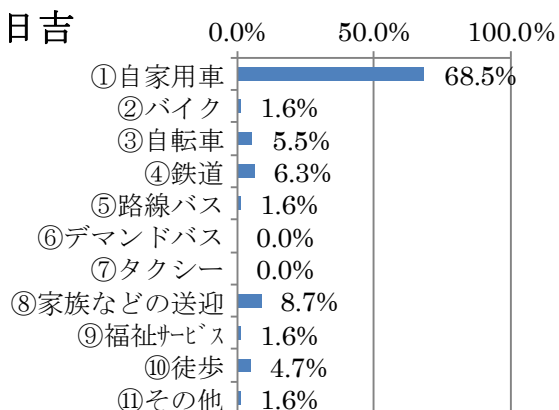
園部



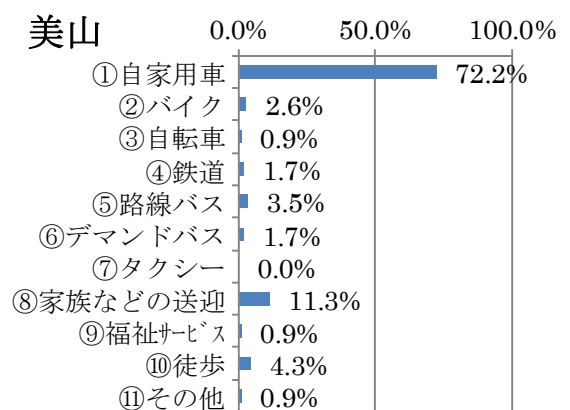
八木



日吉

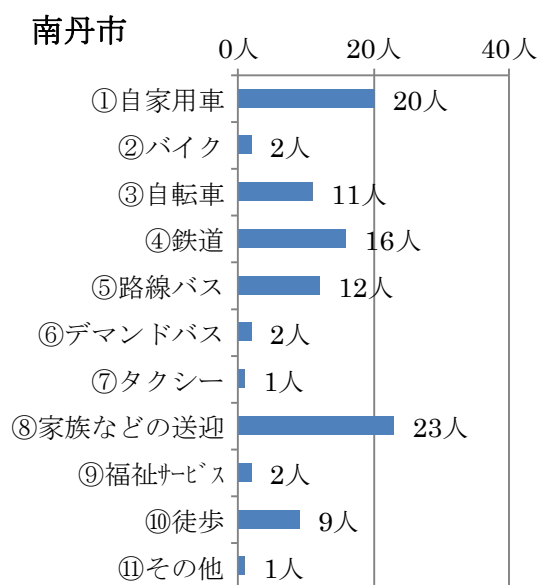


美山



【通学の移動手段(複数回答可)】(回答数 99)

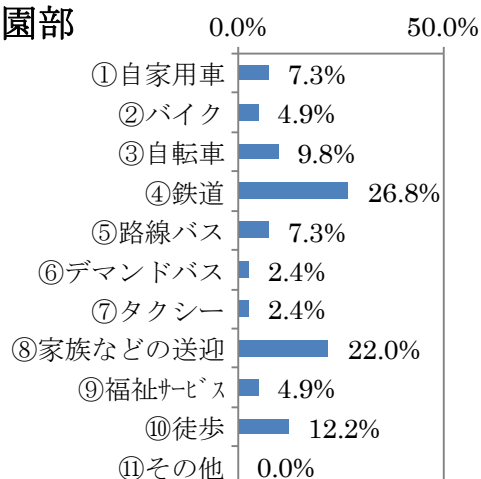
	通学	構成比
①自家用車	20人	20.2%
②バイク	2人	2.0%
③自転車	11人	11.1%
④鉄道	16人	16.2%
⑤路線バス	12人	12.1%
⑥デマンドバス	2人	2.0%
⑦タクシー	1人	1.0%
⑧家族などの送迎	23人	23.2%
⑨福祉サービス	2人	2.0%
⑩徒歩	9人	9.1%
⑪その他	1人	1.0%
合計	99人	100.0%



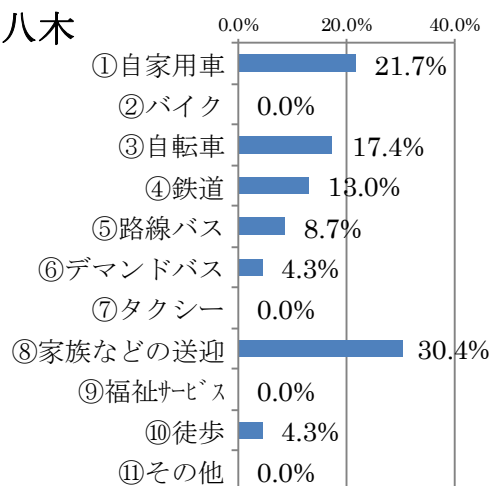
【旧町内訳:通学】

通学	園部		八木		日吉		美山	
①自家用車	3人	7.3%	5人	21.7%	7人	41.2%	5人	27.8%
②バイク	2人	4.9%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
③自転車	4人	9.8%	4人	17.4%	2人	11.8%	1人	5.6%
④鉄道	11人	26.8%	3人	13.0%	1人	5.9%	1人	5.6%
⑤路線バス	3人	7.3%	2人	8.7%	2人	11.8%	5人	27.8%
⑥デマンドバス	1人	2.4%	1人	4.3%	0人	0.0%	0人	0.0%
⑦タクシー	1人	2.4%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
⑧家族などの送迎	9人	22.0%	7人	30.4%	4人	23.5%	3人	16.7%
⑨福祉サービス	2人	4.9%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
⑩徒歩	5人	12.2%	1人	4.3%	1人	5.9%	2人	11.1%
⑪その他	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	1人	5.6%
合計	41人	100.0%	23人	100.0%	17人	100.0%	18人	100.0%

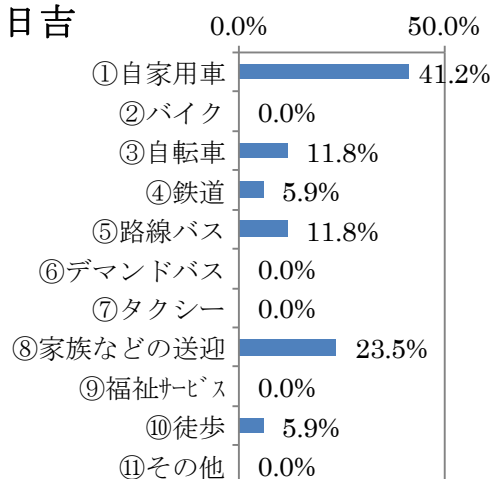
園部



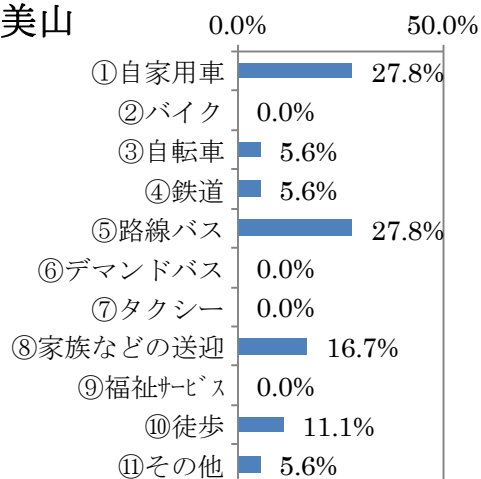
八木



日吉



美山

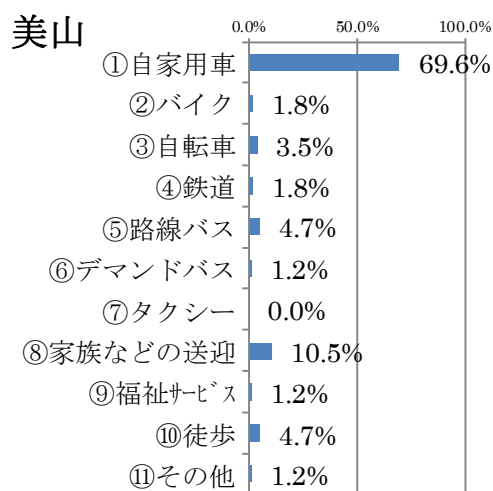
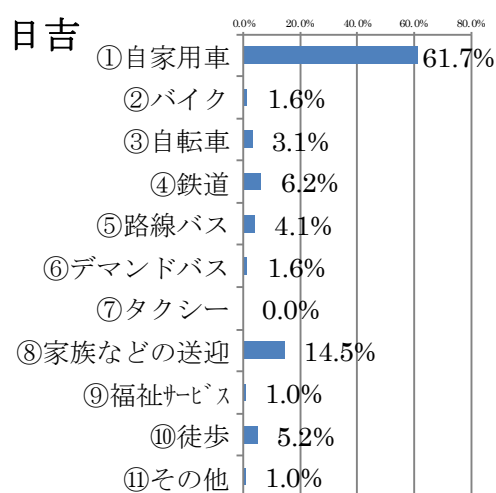
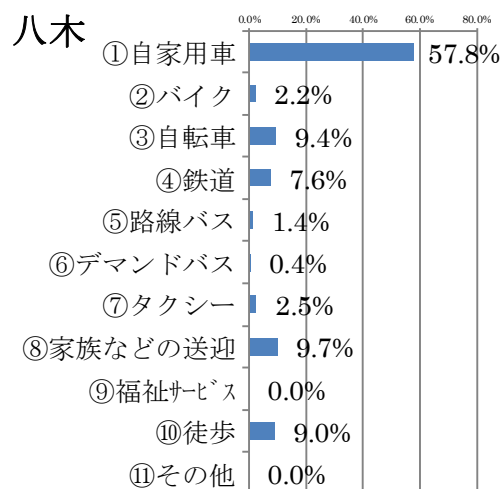
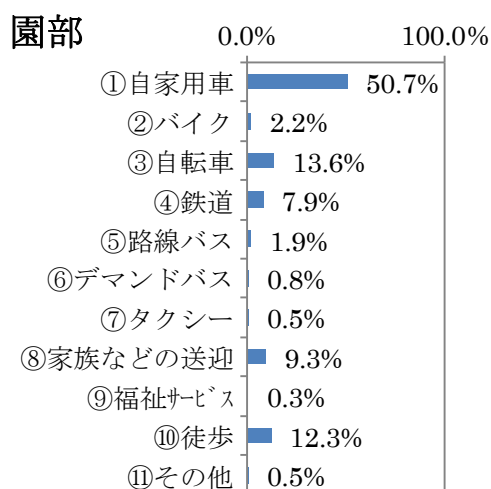


【買い物の移動手段(複数回答可)】(回答数 1,008)

買い物	買物	構成比
①自家用車	584 人	57.9%
②バイク	20 人	2.0%
③自転車	88 人	8.7%
④鉄道	65 人	6.4%
⑤路線バス	27 人	2.7%
⑥デマンドバス	9 人	0.9%
⑦タクシー	9 人	0.9%
⑧家族などの送迎	107 人	10.6%
⑨福祉サービス	5 人	0.5%
⑩徒歩	88 人	8.7%
⑪その他	6 人	0.6%
合計	1,008 人	100.0%

【旧町内訳: 買い物】

通勤	園部		八木		日吉		美山	
①自家用車	186人	50.7%	160人	57.8%	119人	61.7%	119人	69.6%
②バイク	8人	2.2%	6人	2.2%	3人	1.6%	3人	1.8%
③自転車	50人	13.6%	26人	9.4%	6人	3.1%	6人	3.5%
④鉄道	29人	7.9%	21人	7.6%	12人	6.2%	3人	1.8%
⑤路線バス	7人	1.9%	4人	1.4%	8人	4.1%	8人	4.7%
⑥デマンドバス	3人	0.8%	1人	0.4%	3人	1.6%	2人	1.2%
⑦タクシー	2人	0.5%	7人	2.5%	0人	0.0%	0人	0.0%
⑧家族などの送迎	34人	9.3%	27人	9.7%	28人	14.5%	18人	10.5%
⑨福祉サービス	1人	0.3%	0人	0.0%	2人	1.0%	2人	1.2%
⑩徒歩	45人	12.3%	25人	9.0%	10人	5.2%	8人	4.7%
⑪その他	2人	0.5%	0人	0.0%	2人	1.0%	2人	1.2%
合計	367人	100.0%	277人	100.0%	193人	100.0%	171人	100.0%



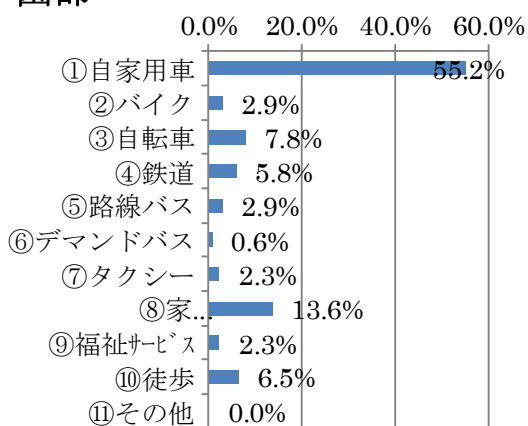
【通院の移動手段(複数回答可)】(回答数 899)

	通院	構成比
①自家用車	527 人	58.6%
②バイク	20 人	2.2%
③自転車	44 人	4.9%
④鉄道	39 人	4.3%
⑤路線バス	23 人	2.6%
⑥デマンドバス	12 人	1.3%
⑦タクシー	13 人	1.4%
⑧家族などの送迎	141 人	15.7%
⑨福祉サービス	23 人	2.6%
⑩徒歩	49 人	5.5%
⑪その他	8 人	0.9%
合計	899 人	100.0%

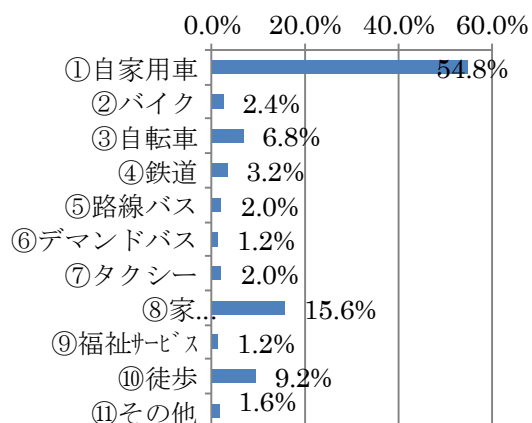
【旧町内訳:通院】

通勤	園部		八木		日吉		美山	
①自家用車	170人	55.2%	137人	54.8%	108人	60.7%	112人	68.7%
②バイク	9人	2.9%	6人	2.4%	2人	1.1%	3人	1.8%
③自転車	24人	7.8%	17人	6.8%	2人	1.1%	1人	0.6%
④鉄道	18人	5.8%	8人	3.2%	11人	6.2%	2人	1.2%
⑤路線バス	9人	2.9%	5人	2.0%	6人	3.4%	3人	1.8%
⑥デマンドバス	2人	0.6%	3人	1.2%	5人	2.8%	2人	1.2%
⑦タクシー	7人	2.3%	5人	2.0%	0人	0.0%	1人	0.6%
⑧家族などの送迎	42人	13.6%	39人	15.6%	31人	17.4%	29人	17.8%
⑨福祉サービス	7人	2.3%	3人	1.2%	6人	3.4%	7人	4.3%
⑩徒歩	20人	6.5%	23人	9.2%	5人	2.8%	1人	0.6%
⑪その他	0人	0.0%	4人	1.6%	2人	1.1%	2人	1.2%
合計	308人	100.0%	250人	100.0%	178人	100.0%	163人	100.0%

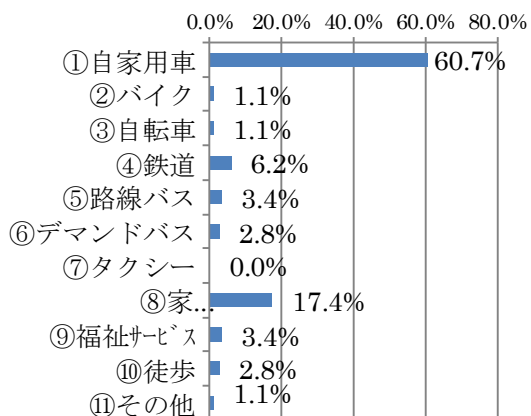
園部



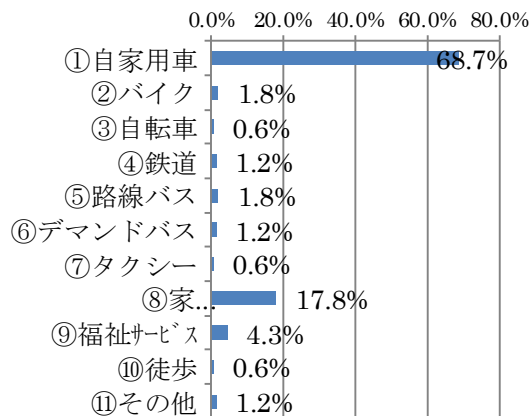
八木



日吉

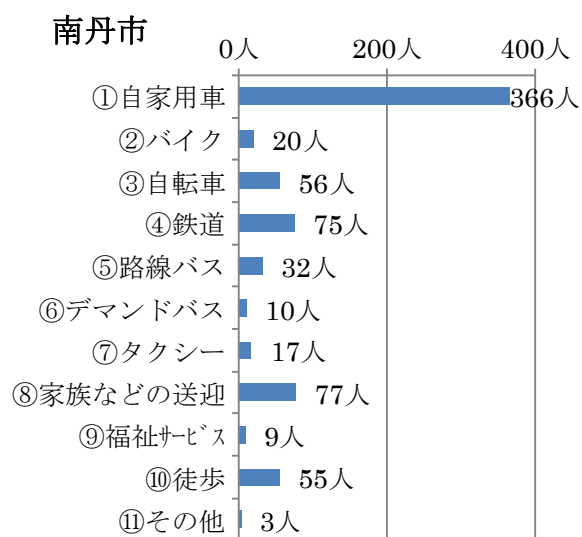


美山



【その他の移動手段(複数回答可)】(回答数 720)

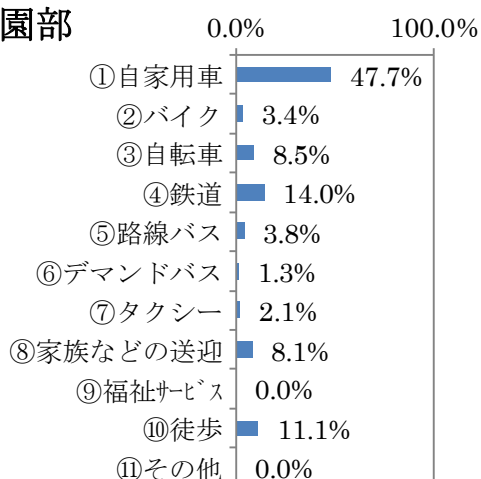
	その他	構成比
①自家用車	366 人	50.8%
②バイク	20 人	2.8%
③自転車	56 人	7.8%
④鉄道	75 人	10.4%
⑤路線バス	32 人	4.4%
⑥デマンドバス	10 人	1.4%
⑦タクシー	17 人	2.4%
⑧家族などの送迎	77 人	10.7%
⑨福祉サービス	9 人	1.3%
⑩徒歩	55 人	7.6%
⑪その他	3 人	0.4%
合計	720 人	100.0%



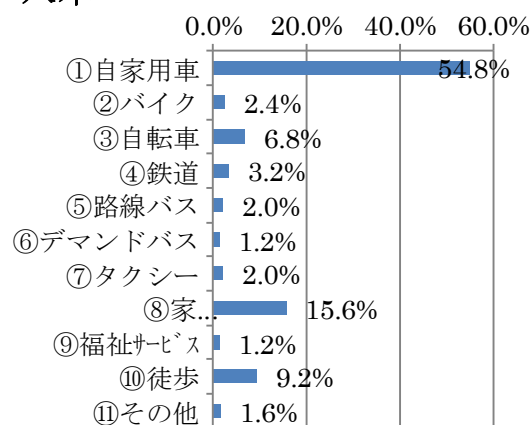
【旧町内訳:その他】

通勤	園部		八木		日吉		美山	
①自家用車	112人	47.7%	117人	54.2%	61人	51.7%	76人	50.3%
②バイク	8人	3.4%	2人	0.9%	3人	2.5%	7人	4.6%
③自転車	20人	8.5%	21人	9.7%	5人	4.2%	10人	6.6%
④鉄道	33人	14.0%	16人	7.4%	17人	14.4%	9人	6.0%
⑤路線バス	9人	3.8%	10人	4.6%	5人	4.2%	8人	5.3%
⑥デマンドバス	3人	1.3%	2人	0.9%	3人	2.5%	2人	1.3%
⑦タクシー	5人	2.1%	9人	4.2%	1人	0.8%	2人	1.3%
⑧家族などの送迎	19人	8.1%	30人	13.9%	13人	11.0%	15人	9.9%
⑨福祉サービス	0人	0.0%	1人	0.5%	3人	2.5%	5人	3.3%
⑩徒歩	26人	11.1%	8人	3.7%	5人	4.2%	16人	10.6%
⑪その他	0人	0.0%	0人	0.0%	2人	1.7%	1人	0.7%
合計	235人	100.0%	216人	100.0%	118人	100.0%	151人	100.0%

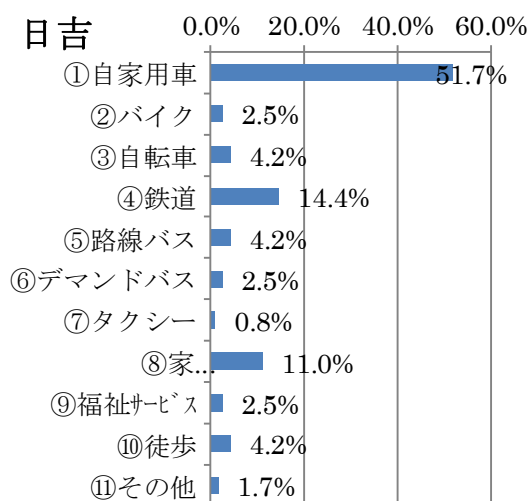
園部



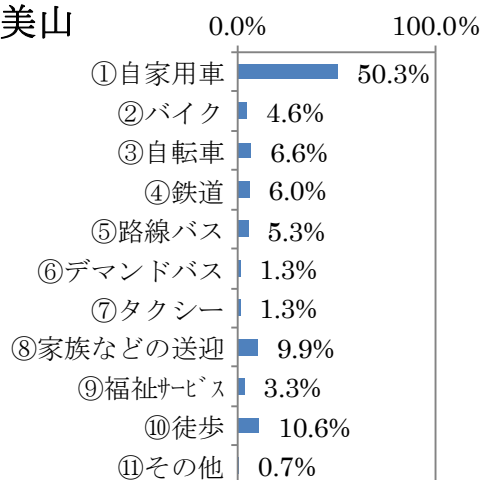
八木



日吉



美山



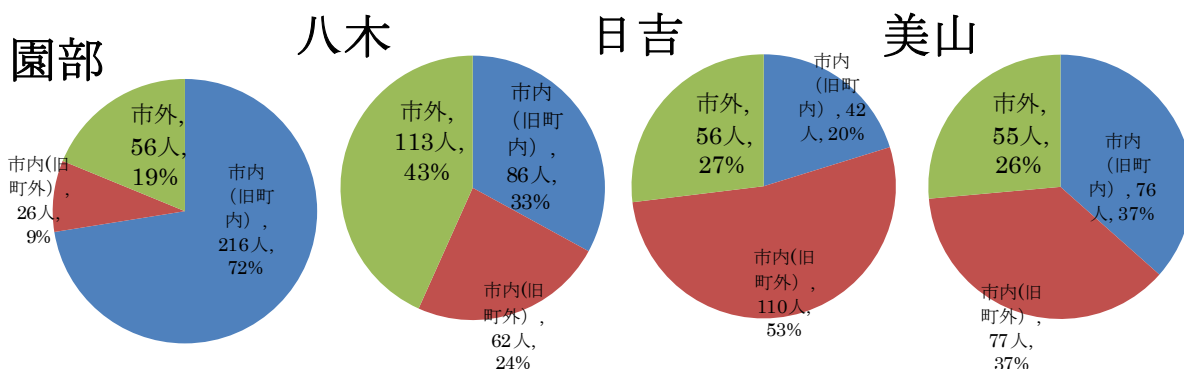
問4 買い物をする場所、店について

【買い物をする地域(複数回答可)】

	人数	構成比
市内(旧町内)	420人	43.1%
市内(旧町外)	275人	28.2%
市外	280人	28.7%
合計	975人	100.0%

【旧町内訳: 買い物をする地域】

買い物をする地域	園部		八木		日吉		美山	
市内(旧町内)	216人	72.5%	86人	33.0%	42人	20.2%	76人	36.5%
市内(旧町外)	26人	8.7%	62人	23.8%	110人	52.9%	77人	37.0%
市外	56人	18.8%	113人	43.3%	56人	26.9%	55人	26.4%
合計	298人	100.0%	261人	100.0%	208人	100.0%	208人	100.0%



【買い物をする地域】

園部は「旧町内」が72.5%、日吉は「市内(旧町外)」が52.9%で一番多く、八木は市外(43.3%)が一番多い回答であった。このことから、園部、日吉地域は園部町内で、八木町は亀岡市内へ買い物に行くケースが多いことが読み取れる。美山町は旧町内(36.5%)・旧町外(37.0%)でほぼ同一の値であった。

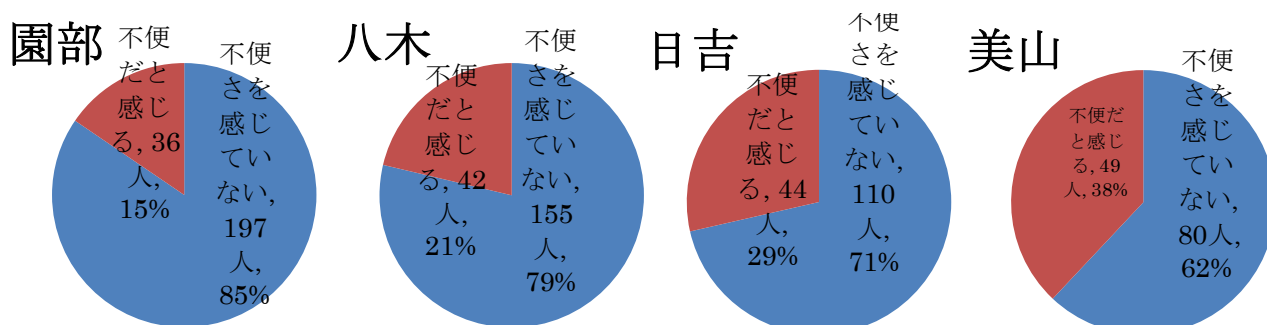
普段買い物をする店舗についても、園部・日吉は園部町内の店舗(マツモト、コメリ、フレッシュバザール等)が多かったが、八木・美山については旧町内の店舗の記載が目立った。

【買い物時の不便さを感じるか】

	人数	構成比
不便さを感じていない	542 人	76.0%
不便だと感じる	171 人	24.0%
合計	713 人	100.0%

【旧町内訳】

買い物時の不便さを感じるか	園部		八木		日吉		美山	
不便さを感じていない	197 人	84.5%	155 人	78.7%	110 人	71.4%	80 人	62.0%
不便だと感じる	36 人	15.5%	42 人	21.3%	44 人	28.6%	49 人	38.0%
合計	233 人	100.0%	197 人	100.0%	154 人	100.0%	129 人	100.0%



【日常の買い物について、不便さを感じるか】

南丹市全体でみれば「不便さを感じる」の構成比は 24.0%であった。旧町ごとに見れば、園部は「不便さを感じる」人は 15.5%であったが、美山では 38.0%であり、旧町ごとに構成比に差があった。

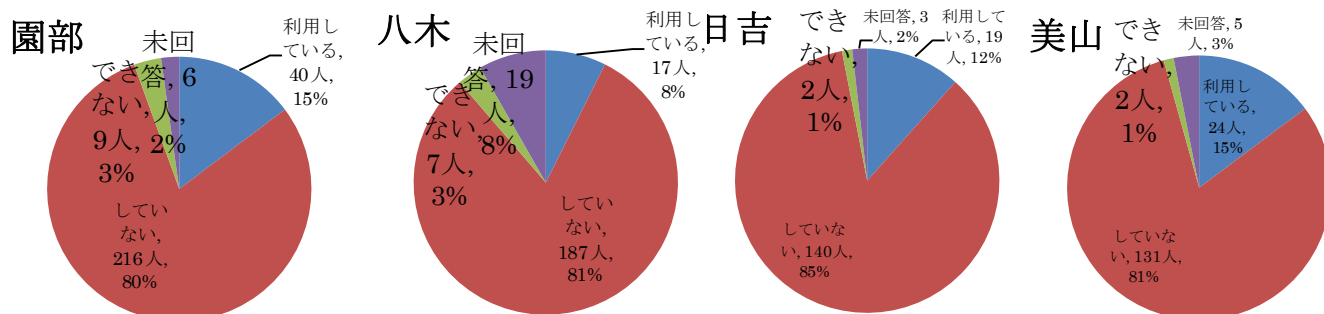
問5 市内路線バスの利用

【利用の有無】

	人数	構成比
利用している	100 人	12.1%
利用していない	671 人	81.1%
利用できない	4 人	0.5%
未回答	52 人	6.3%
合計	827 人	100.0%

【旧町内訳】

路線バスの利用	園部		八木		日吉		美山	
利用している	40 人	14.4%	17 人	7.4%	19 人	11.6%	24 人	14.8%
利用していない	216 人	78.0%	187 人	81.3%	140 人	85.4%	131 人	80.9%
利用できない	9 人	3.2%	7 人	3.0%	2 人	1.2%	2 人	1.2%
未回答	6 人	4.3%	19 人	8.3%	3 人	1.8%	5 人	3.1%
合計	271 人	100.0%	230 人	100.0%	164 人	100.0%	162 人	100.0%



【市内路線バスの利用】

「利用している」と回答したのは、南丹市全体では12.1%だった。旧町では、園部（14.4%）と美山（14.8%）が比較的高く、八木（7.4%）の利用率は低かった。

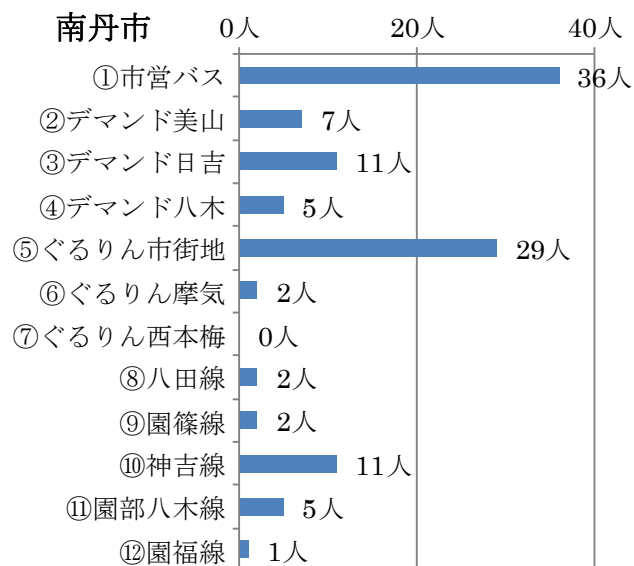
「利用していない」と回答したのは南丹市全体で81.1%であり、5人中4人以上が市営バスを利用していないことが分かった。

問6 市営バスの利用について

※問5で「市営バスを利用している」と答えた回答者に徴取

【利用する路線】

	人数	構成比
①市営バス	36人	32.4%
②デマンド美山	7人	6.3%
③デマンド日吉	11人	9.9%
④デマンド八木	5人	4.5%
⑤ぐるりん市街地	29人	26.1%
⑥ぐるりん摩気	2人	1.8%
⑦ぐるりん西本梅	0人	0.0%
⑧八田線	2人	1.8%
⑨園篠線	2人	1.8%
⑩神吉線	11人	9.9%
⑪園部八木線	5人	4.5%
⑫園福線	1人	0.9%
合計	111人	100.0%



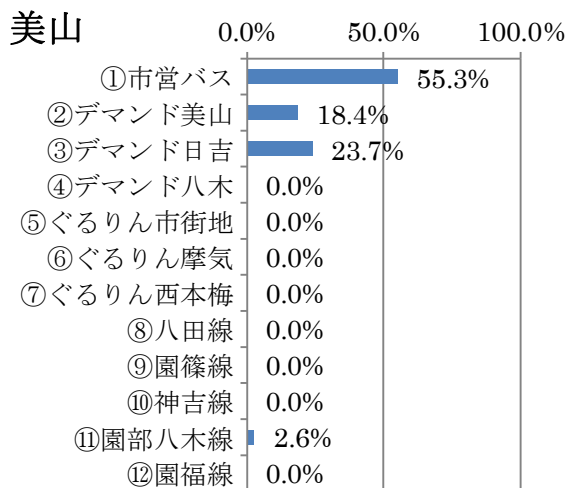
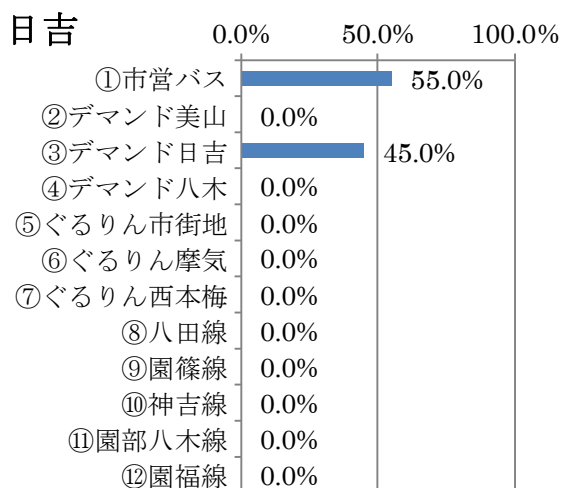
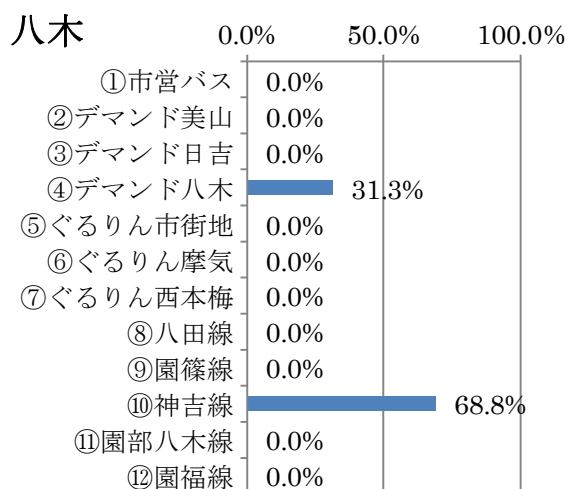
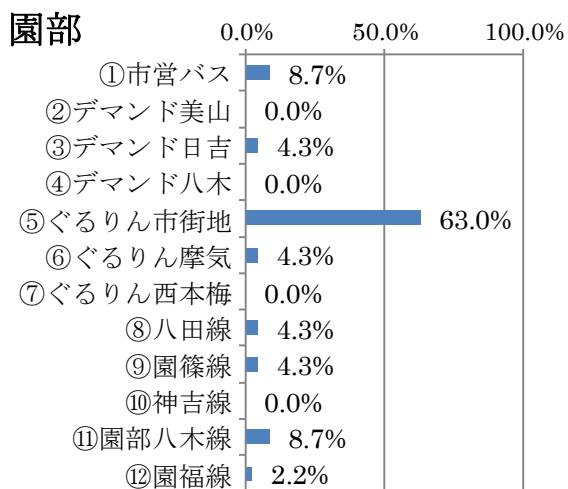
【利用する路線】

南丹市全体では、「市営バス（32.4%）」の利用が最も多く、次いで「ぐるりんバス市街地循環線（26.1%）」となっている。時点で「京阪京都交通神吉線（9.9%）」及び「デマンドバス日吉（9.9%）」の利用が多い結果が出た。

旧町ごとでは園部は「ぐるりんバス市街地循環線（63%）」の利用が突出して多く、八木は「京阪京都交通神吉・原神吉線（69%）」の利用が最も多かった。日吉・美山はともに「市営バス（両55%）」の利用が多かったが、旧町ごとのデマンドバスの利用もあった。美山の住民で日吉のデマンドバスを利用していると回答があったが、これは日吉駅から鍼灸大学前駅までの乗継で使用したことが考えられる、

【旧町内訳】

利用する路線	園部		八木		日吉		美山	
①市営バス	4人	8.7%	0人	0.0%	11人	55.0%	21人	55.3%
②デマンド美山	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	7人	18.4%
③デマンド日吉	2人	4.3%	0人	0.0%	9人	45.0%	9人	23.7%
④デマンド八木	0人	0.0%	5人	31.3%	0人	0.0%	0人	0.0%
⑤ぐるりん市街地	29人	63.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
⑥ぐるりん摩気	2人	4.3%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
⑦ぐるりん西本梅	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
⑧八田線	2人	4.3%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
⑨園篠線	2人	4.3%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
⑩神吉線	0人	0.0%	11人	68.8%	0人	0.0%	0人	0.0%
⑪園部八木線	4人	8.7%	0人	0.0%	0人	0.0%	1人	2.6%
⑫園福線	1人	2.2%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
合計	46人	100.0%	16人	100.0%	20人	100.0%	38人	100.0%



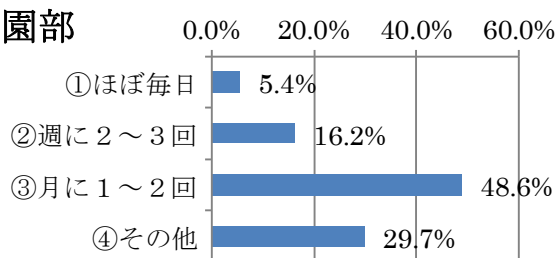
【路線バスの利用頻度】

利用頻度	人数	構成比
①ほぼ毎日	11人	12.2%
②週に2～3回	13人	14.4%
③月に1～2回	42人	46.7%
④その他	24人	26.7%
合計	90人	100.0%

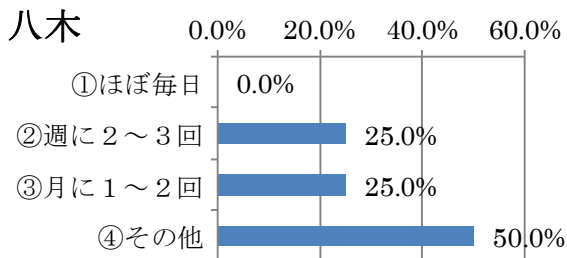
【旧町内訳】

	園部		八木		日吉		美山	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
①ほぼ毎日	2人	5.4%	0人	0.0%	5人	27.8%	4人	21.1%
②週に2～3回	6人	16.2%	4人	25.0%	1人	5.6%	2人	10.5%
③月に1～2回	18人	48.6%	4人	25.0%	9人	50.0%	11人	57.9%
④その他	11人	29.7%	8人	50.0%	3人	16.7%	2人	10.5%
合計	37人	100.0%	16人	100.0%	18人	100.0%	19人	100.0%

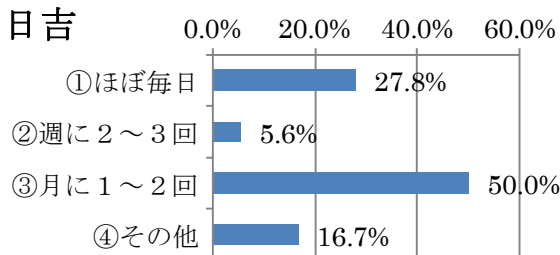
園部



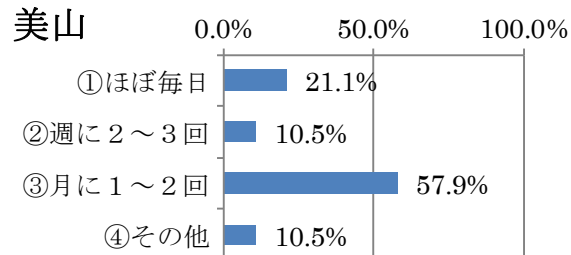
八木



日吉



美山



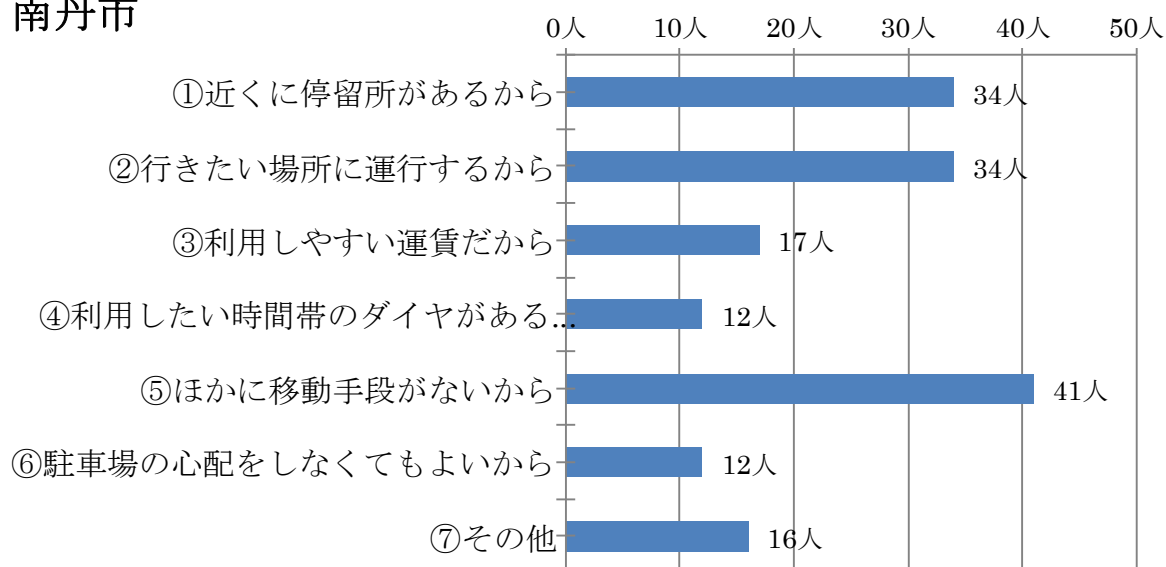
【路線バスの利用頻度】

「ほぼ毎日利用する（12.2%）」割合は少なく、多くは「月に1～2回（46.7%）」であった。「その他（26.7%）」でも、「数か月に1回利用」といった回答が多かった。

【路線バスを利用する理由】

	人数	構成比
①近くに停留所があるから	34人	20.5%
②行きたい場所に運行するから	34人	20.5%
③利用しやすい運賃だから	17人	10.2%
④利用したい時間帯のダイヤがあるから	12人	7.2%
⑤ほかに移動手段がないから	41人	24.7%
⑥駐車場の心配をしなくてもよいから	12人	7.2%
⑦その他	16人	9.6%
合計	166人	100.0%

南丹市



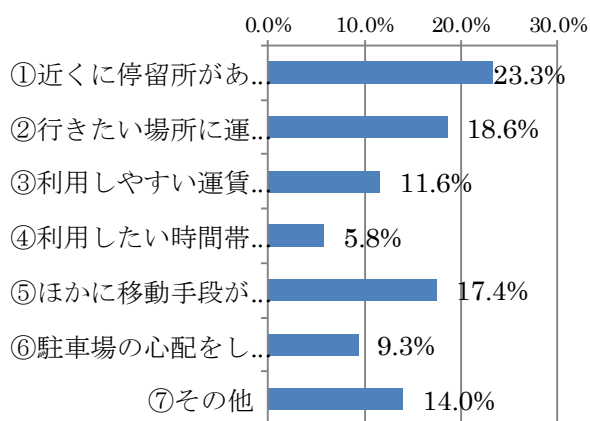
【路線バスを利用する理由】

「ほかに移動手段がないから (24.7%)」の回答が最も多かったが、「近くに停留所があるから (20.5%)」、「行きたい場所に運行するから (20.5%)」といった回答が次いで多かった。これらの利便性の向上は、利用促進につながる事が読み取れる。

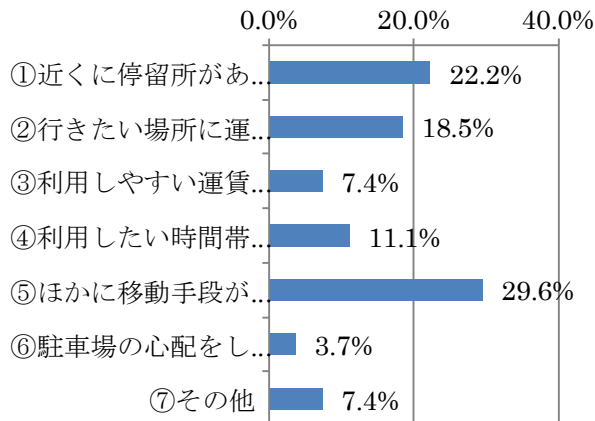
【旧町内訳】

路線バスを利用する理由	園部		八木		日吉		美山	
①近くに停留所があるから	20人	23.0%	6人	22.0%	4人	19.0%	4人	13.0%
②行きたい場所に運行するから	16人	19.0%	5人	19.0%	5人	24.0%	8人	25.0%
③利用しやすい運賃だから	10人	12.0%	2人	7.0%	1人	5.0%	4人	13.0%
④利用したい時間帯のダイヤがあるから	5人	6.0%	3人	11.0%	2人	10.0%	2人	6.0%
⑤ほかに移動手段がないから	15人	17.0%	8人	30.0%	6人	29.0%	12人	38.0%
⑥駐車場の心配をしなくてもよいから	8人	9.0%	1人	4.0%	1人	5.0%	2人	6.0%
⑦その他	12人	14.0%	2人	7.0%	2人	10.0%	0人	0.0%
合計	86人	100.0%	27人	100.0%	21人	100.0%	32人	100.0%

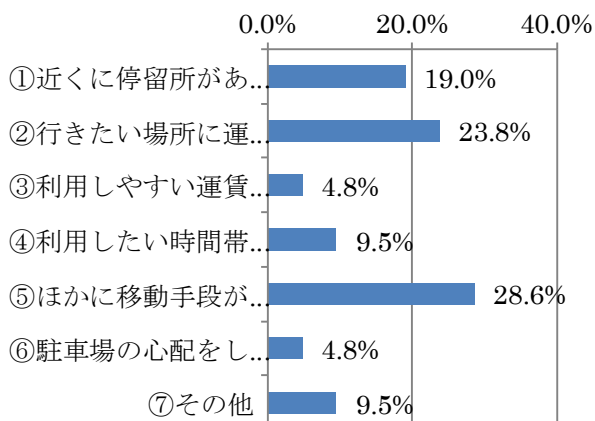
園部



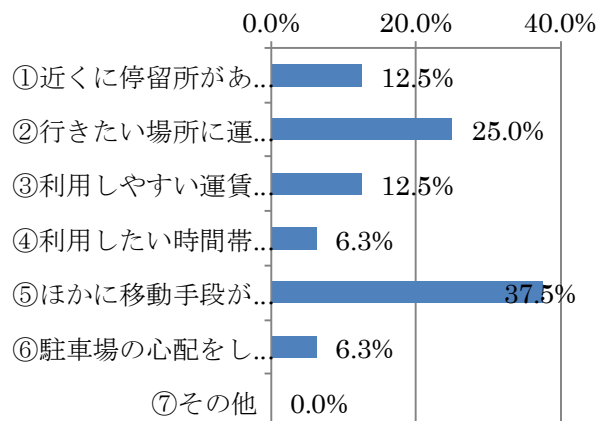
八木



日吉



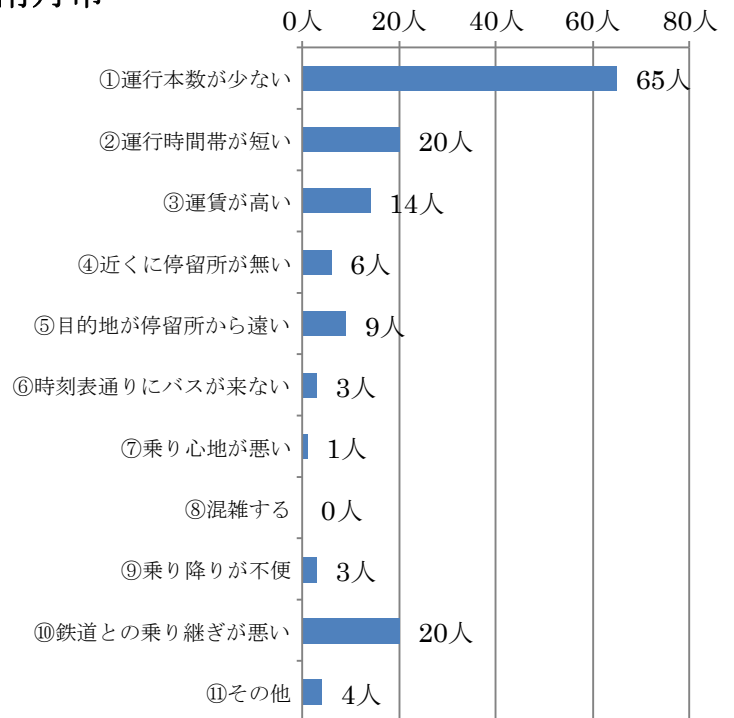
美山



【市内路線バスの問題点】

	人数	構成比
①運行本数が少ない	65人	44.8%
②運行時間帯が短い	20人	13.8%
③運賃が高い	14人	9.7%
④近くに停留所が無い	6人	4.1%
⑤目的地が停留所から遠い	9人	6.2%
⑥時刻表通りにバスが来ない	3人	2.1%
⑦乗り心地が悪い	1人	0.7%
⑧混雑する	0人	0.0%
⑨乗り降りが不便	3人	2.1%
⑩鉄道との乗り継ぎが悪い	20人	13.8%
⑪その他	4人	2.8%
合計	145人	100.0%

南丹市



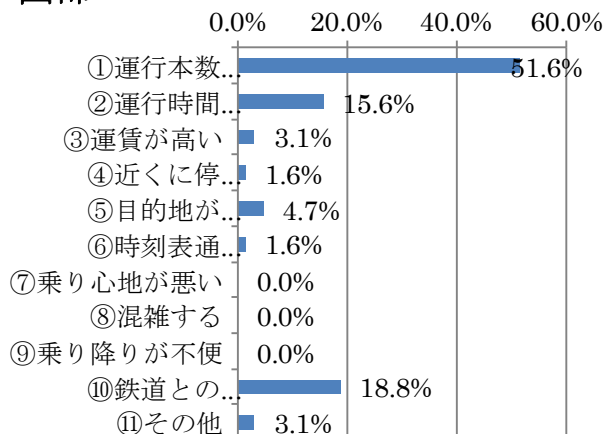
【南丹市路線バスの問題点】

「運行本数が少ない (44.8%)」が最も多く、次いで「運行時間帯が短い (13.8%)」、「鉄道との乗り継ぎが悪い (13.8%)」であった。「目的地が停留所から遠い (6.2%)」については八木町地域で大きな比率 (23.5%) を占めていた。

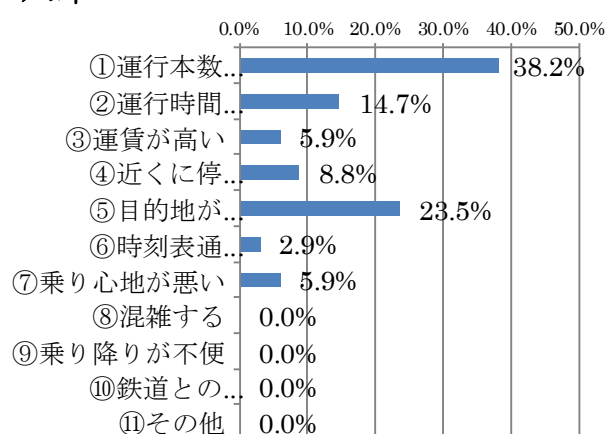
【旧町内訳】

	園部		八木		日吉		美山	
①運行本数が少ない	33人	51.6%	13人	38.2%	7人	53.8%	12人	34.3%
②運行時間帯が短い	10人	15.6%	5人	14.7%	2人	15.4%	3人	8.6%
③運賃が高い	2人	3.1%	2人	5.9%	0人	0.0%	5人	14.3%
④近くに停留所が無い	1人	1.6%	3人	8.8%	1人	7.7%	2人	5.7%
⑤目的地が停留所から遠い	3人	4.7%	8人	23.5%	1人	7.7%	2人	5.7%
⑥時刻表通りにバスが来ない	1人	1.6%	1人	2.9%	0人	0.0%	1人	2.9%
⑦乗り心地が悪い	0人	0.0%	2人	5.9%	0人	0.0%	1人	2.9%
⑧混雑する	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
⑨乗り降りが不便	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	3人	8.6%
⑩鉄道との乗り継ぎが悪い	12人	18.8%	0人	0.0%	2人	15.4%	4人	11.4%
⑪その他	2人	3.1%	0人	0.0%	0人	0.0%	2人	5.7%
合計	64人	100.0%	34人	100.0%	13人	100.0%	35人	100.0%

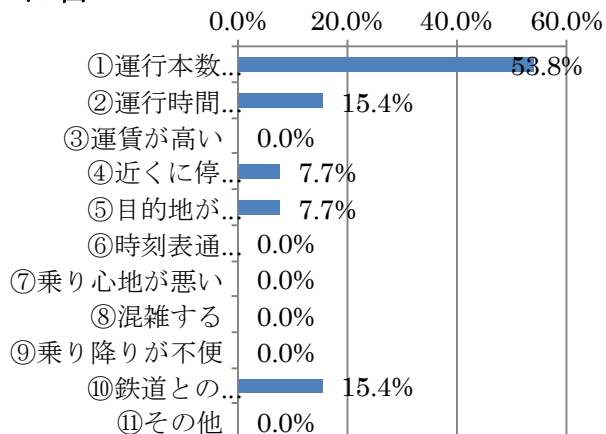
園部



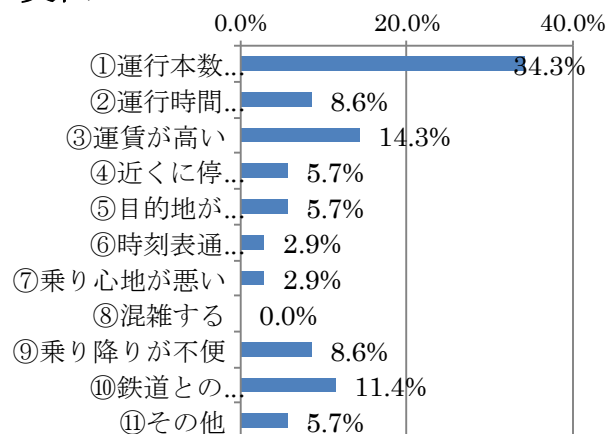
八木



日吉



美山



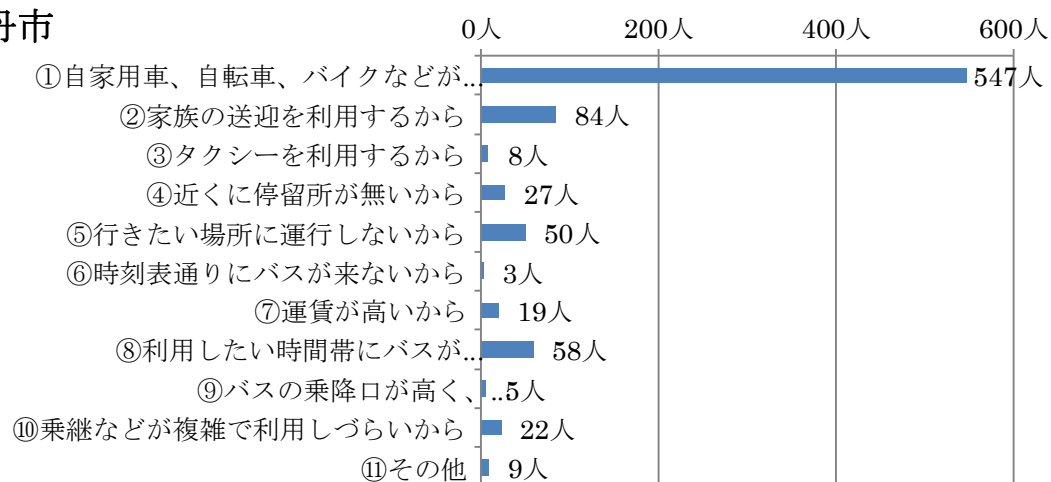
問7 市内路線バスを利用していない理由

※問5において、「利用していない」と答えた回答者に徴取。

【市内路線バスを利用していない理由】

	人数	構成比
①自家用車、自転車、バイクなどがあり、バスを利用しなくても済むから	547人	65.7%
②家族の送迎を利用するから	84人	10.1%
③タクシーを利用するから	8人	1.0%
④近くに停留所が無いから	27人	3.2%
⑤行きたい場所に運行しないから	50人	6.0%
⑥時刻表通りにバスが来ないから	3人	0.4%
⑦運賃が高いから	19人	2.3%
⑧利用したい時間帯にバスが運行していないから	58人	7.0%
⑨バスの乗降口が高く、乗り降りができないから	5人	0.6%
⑩乗継などが複雑で利用しづらいから	22人	2.6%
⑪その他	9人	1.1%
合計	832人	100.0%

南丹市



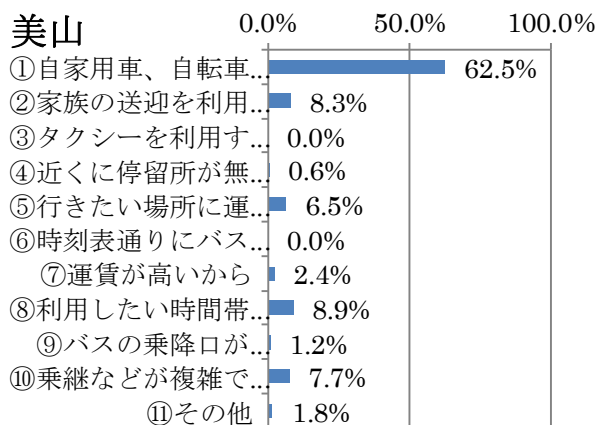
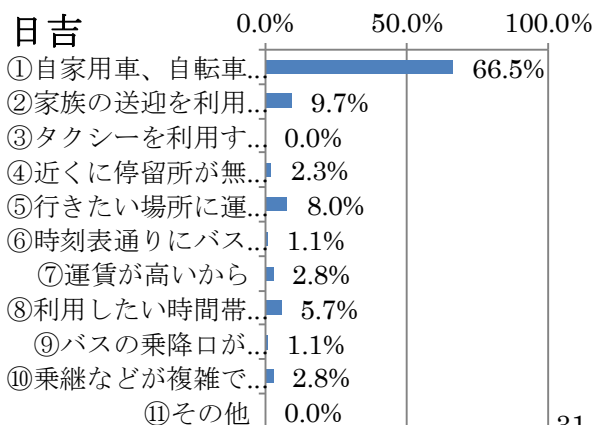
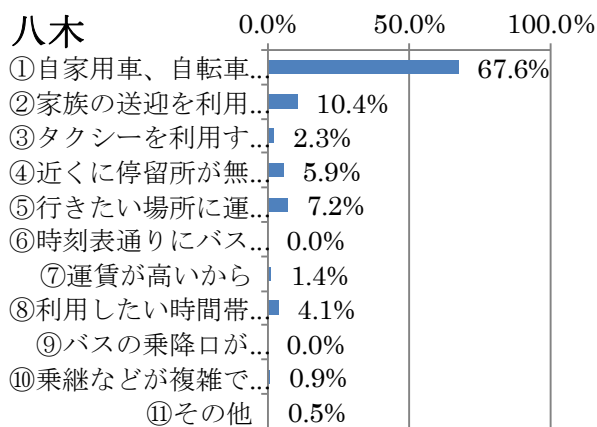
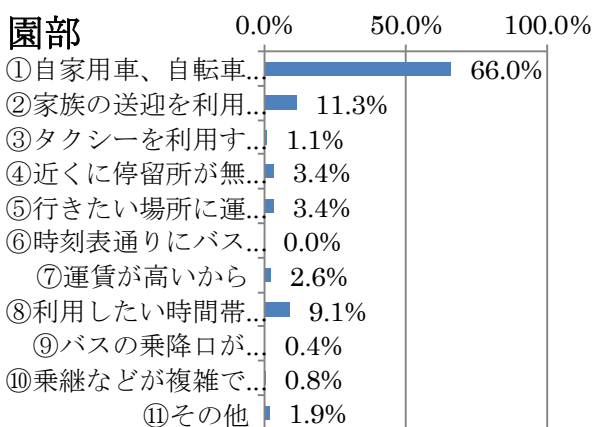
【南丹市路線バスを利用していない理由】

「自家用車、自転車、バイクなどがあり、バスを利用しなくても済むから(65.7%)」の回答が突出して多く、「家族の送迎を利用するから(10.1%)」と合わせると、自家用車の使用に関わる理由は全体で75%を超えることとなった。その他回答が多かった項目は、「行きたい場所に運行しないから(6.0%)」、「利用したい時間帯にバスが無いから(7.0%)」であった。

旧町ごとに見ても、市全体と回答比率に大きな違いはなかった。

【旧町内訳】

	園部		八木		日吉		美山	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
①自家用車、自転車、バイクなどがあり、バスを利用しなくても済むから	175人	66.0%	150人	67.6%	117人	66.5%	105人	62.5%
②家族の送迎を利用するから	30人	11.3%	23人	10.4%	17人	9.7%	14人	8.3%
③タクシーを利用するから	3人	1.1%	5人	2.3%	0人	0.0%	0人	0.0%
④近くに停留所が無いから	9人	3.4%	13人	5.9%	4人	2.3%	1人	0.6%
⑤行きたい場所に運行しないから	9人	3.4%	16人	7.2%	14人	8.0%	11人	6.5%
⑥時刻表通りにバスが来ないから	0人	0.0%	0人	0.0%	2人	1.1%	0人	0.0%
⑦運賃が高いから	7人	2.6%	3人	1.4%	5人	2.8%	4人	2.4%
⑧利用したい時間帯にバスが運行していないから	24人	9.1%	9人	4.1%	10人	5.7%	15人	8.9%
⑨バスの乗降口が高く乗り降りできないから	1人	0.4%	0人	0.0%	2人	1.1%	2人	1.2%
⑩乗継などが複雑で利用しづらいから	2人	0.8%	2人	0.9%	5人	2.8%	13人	7.7%
⑪その他	5人	1.9%	1人	0.5%	0人	0.0%	3人	1.8%
合計	265人	100.0%	222人	100.0%	176人	100.0%	168人	100.0%

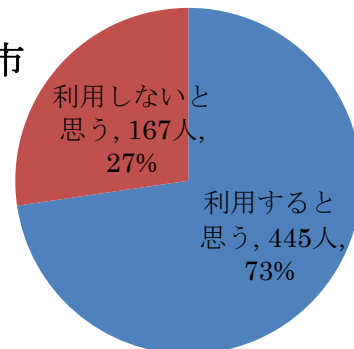


問 8_路線バスの将来の利用の有無

南丹市

【将来の利用の有無】

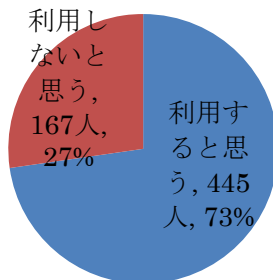
	人数	構成比
利用すると思う	445 人	72.7%
利用しないと思う	167 人	27.3%
合計	612 人	100.0%



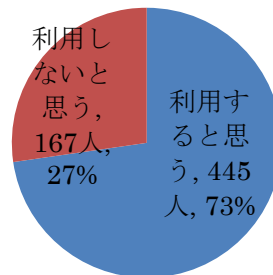
【旧町内訳】

	園部		八木		日吉		美山	
利用すると思う	135 人	71.1%	111 人	63.1%	90 人	72.0%	109 人	90.1%
利用しないと思う	55 人	28.9%	65 人	36.9%	35 人	28.0%	12 人	9.9%
合計	190 人	100.0%	176 人	100.0%	125 人	100.0%	121 人	100.0%

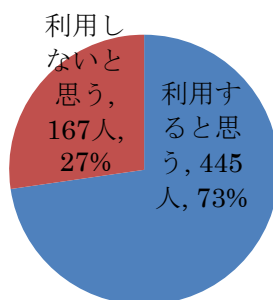
園部



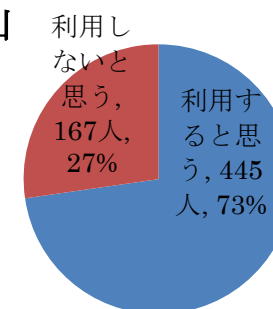
八木



日吉

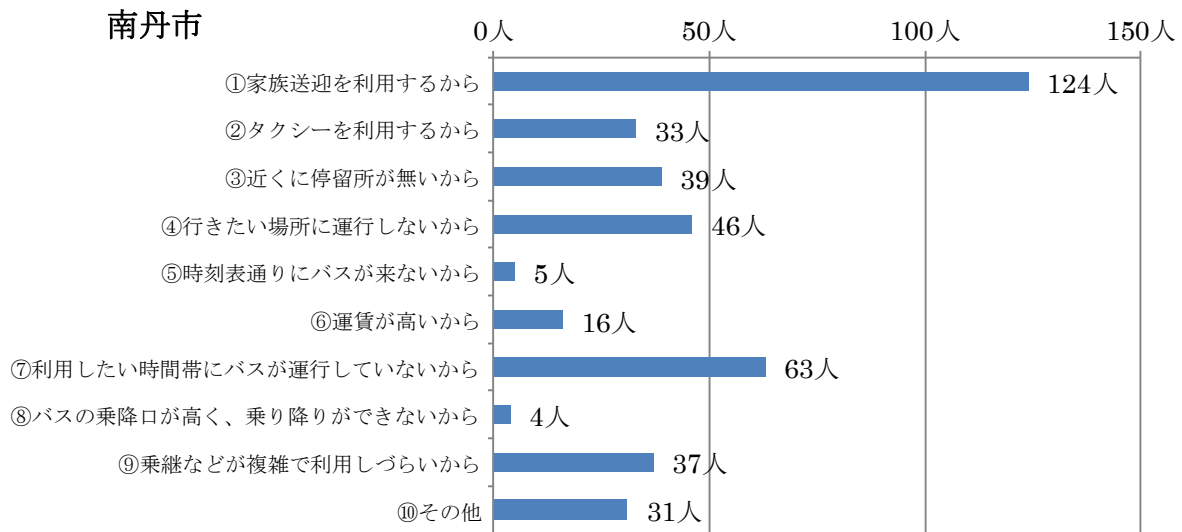


美山



【利用しないと考える理由】

	人数	構成比
①家族送迎を利用するから	124人	31.2%
②タクシーを利用するから	33人	8.3%
③近くに停留所が無いから	39人	9.8%
④行きたい場所に運行しないから	46人	11.6%
⑤時刻表通りにバスが来ないから	5人	1.3%
⑥運賃が高いから	16人	4.0%
⑦利用したい時間帯にバスが運行していないから	63人	15.8%
⑧バスの乗降口が高く、乗り降りができないから	4人	1.0%
⑨乗継などが複雑で利用しづらいから	37人	9.3%
⑩その他	31人	7.8%
合計	398人	100.0%

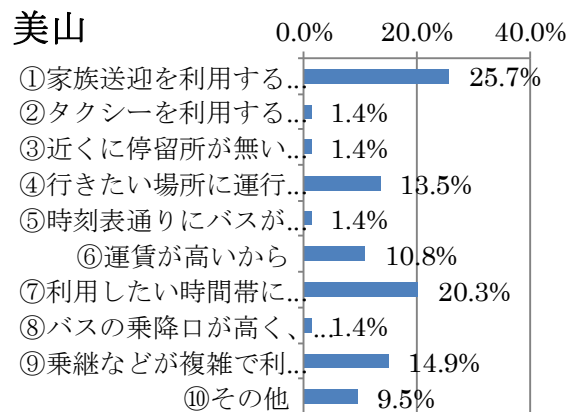
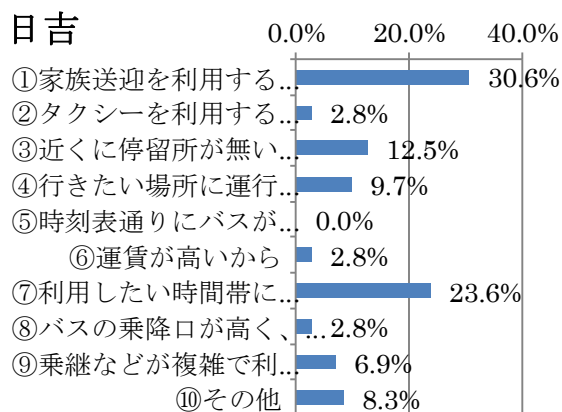
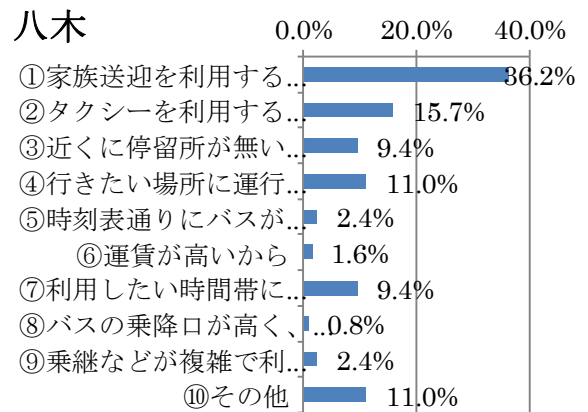
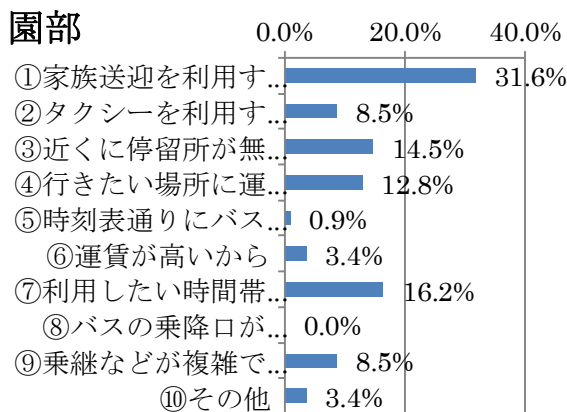


【将来路線バスを利用しない理由】

自家用車の使用に関する回答項目は無くなっているが、問7の結果とほぼ同一の結果であり、「家族の送迎を利用するから(31.2%)」が最も多く、その他回答の多かった項目として、「行きたい場所に運行しないから(11.6%)」、「利用したい時間帯にバスが無いから(15.8%)」であった。

【旧町内訳】

	園部		八木		日吉		美山	
①家族送迎を利用するから	37人	31.6%	46人	36.2%	22人	30.6%	19人	25.7%
②タクシーを利用するから	10人	8.5%	20人	15.7%	2人	2.8%	1人	1.4%
③近くに停留所が無いから	17人	14.5%	12人	9.4%	9人	12.5%	1人	1.4%
④行きたい場所に運行しないから	15人	12.8%	14人	11.0%	7人	9.7%	10人	13.5%
⑤時刻表通りにバスが来ないから	1人	0.9%	3人	2.4%	0人	0.0%	1人	1.4%
⑥運賃が高いから	4人	3.4%	2人	1.6%	2人	2.8%	8人	10.8%
⑦利用したい時間帯にバスが運行していないから	19人	16.2%	12人	9.4%	17人	23.6%	15人	20.3%
⑧バスの乗降口が高く、乗り降りできないから	0人	0.0%	1人	0.8%	2人	2.8%	1人	1.4%
⑨乗継などが複雑で利用しづらいから	10人	8.5%	3人	2.4%	5人	6.9%	11人	14.9%
⑩その他	4人	3.4%	14人	11.0%	6人	8.3%	7人	9.5%
合計	117人	100.0%	127人	100.0%	72人	100.0%	74人	100.0%



【問4】 日常の買物についての自由意見

園部

- ・バスが通っていれば、利用したい。
- ・買物に行きたい時間に、行って帰る便が無い。
- ・マツモトやダイコーは車でないと遠いため、年を重ね運転できなくなった時が心配です。
- ・今は車で買い物に行くので不便は感じませんが年を取り車の運転をしなくなったときは不便になる気はします。
- ・家族に送迎を頼めないお年寄りの方が困っておられる。
- ・普段は車だが、バス路線継続のためにも利用すべきと思う。
- ・現在循環バスは旧町内の過疎地を主体に運行されているが、人口増加、若年層増加地域にも充実した運行体制を希望しています。
- ・一本でスムーズにお店に行くバスが無い。
- ・わかりにくいバスなので困る。例えば直通がないので…。
- ・バスの本数が少なく、夜に走っていない。料金が安い。
- ・現在は自家用車で走り回っているため何の不自由も感じないが、高齢になっていろいろな理由で自家用車に乗れなくなったらどうするのだろう。心配している、考えさせられる。
- ・バスの本数が少ない（最低一時間に1本ほしい）。
- ・今はまだ高齢でないので自分でも運転できるし移動も簡単だが、高齢者となった際不便になるだろうと思う。
- ・全ての移動手段は自家用車です。
- ・現在は不便を感じていないが、高齢になり運転できない状況になることを考えると不安である。
- ・バスの回数が少ない。バスで行くと帰りのバス停まで長時間待たないといけない。バス運賃が高い、せめてガソリン代程度なら、バスを利用する。
- ・自由な時間で買い物に行きたいので、自家用車やバイクで出かける。
- ・毎日の買い物がまことに不便です。
- ・買物先が内林や上木崎に移り、旧商店街が不便になった。こんなことはなかった。町つぶしだ。
- ・自転車。
- ・自家用車で行きます。
- ・現在は自分で運転できるが、先のことを考えると今の交通手段では大変不便で心配で

- す。買い物とか病院、公共機関に通じるように望みます。
- ・以前はるり溪温泉にバスで行っていたが、バスが無いのできびしいです。今は何とか運転できるができないようになるとバスがどうしても必要になる。(病院行きなど)
 - ・駅から帰るとき(夕方～夜)はバスがあるが、行くときにない。
 - ・バスの時間と本数が少なく、雨天時等に困る。
 - ・買物に出て、食べて帰ったとしておいしいものを食べるなら飲みたい。
 - ・美園町のマツモト、A コープの前にバスが通ってくれると便利だと思います。
 - ・今の年齢だとまだバイクに乗れるが、この先バスに乗りたいが時間が合わないので不便です。
 - ・家からバス停まで遠い。
 - ・今は車でどこにでも行けるけど、乗れなくなった時が不安。
 - ・買物などは、気の向いたときに行くもので、何時からと決めていくというのは農村部では田畑の作業もあり難しい。平日は勤めもあり、夜遅くになることもある。
 - ・住んでいる場所にバスが通らない。帰る便が無い。
 - ・今は自動車で行き物に行けますが免許返納するといけなくなるので時々バスの交通を利用したいです。
 - ・お向かいの一人暮らしの80代のおばあちゃんがいつも言っている。小山西町からバスに乗って駅につき、乗り換えのバスが数分前に出発しているので不便。帰りはタクシーがほとんどだと。老人にとって乗り換えが多いのは大変不便だと思う。
 - ・色々とイベントがあっても行く交通手段が無く、高齢者は困る。
 - ・買物に行きたい場所にバスが通っていない、買物に行きたい時間に行って帰る便が無い。
 - ・バスを利用したくてもその時間にバスが来ず、バスを利用したことが無い。

八木

- ・今は自家用車を利用していますので、不便を感じていません。車に乗れなくなったら、宅配の買い物をしなければなりません。品物が重たくて持てないので、特に食品については、良い方法を考えねばなりません。
- ・直通の交通がない。
- ・デマンドを利用すると時間のロスが多い。
- ・行きたい場所にバスが通っていない。買物に行きたい時間に行って帰る便がない。
- ・市営バスを利用しようと思っても前もって申請しその日に行けない。また、乗車場までの道が大変。いつでも乗れるように1日おきでも車を出せないか。
- ・電車の本数が少ない。

- ・現時点での手段は自家用車です。将来、近隣の友人達に会いたい時、徒歩では難しい距離（1～2km）であったりすると友情も薄れてしまう淋しさがあります。高齢であるが故の不便さを現在も多くの方が経験しているはずですが、住まいの近くの店等、不便さを解消したいものです。
- ・買物が現在遠くなった。千代川のマツモトまでバスがあるらしいが詳細が分からない。時刻がわからない。
- ・車があるので特に意見なし。
- ・現在の所不便と感じていない。いずれ老いた時には利用したいと思います。
- ・バイクを利用しているので雨や雪の日は出かけられない。
- ・今は八木にマツモトがないので。
- ・現在は自家用車のみ。
- ・デマンドバスを頼むのに、よほどタイミングが良くないと2時間以上待たなければならない。せめて1時間以内にして欲しいです。
- ・まったくバスは通っていません。
- ・買物をするときは昼前、夕方がよい。
- ・生協を利用。
- ・今は自分で運転して買物に行けるが、近い将来運転できなくなると日常生活ができない。又、通院もできなくなり将来が心配。バスも近く。
- ・以前は国道9号にバスが運行されていたが無くなり不便を感じている。
- ・現在は自家用車で移動しているので不自由を感じないが、年を重ねた時にはバスのことを考えると思う。
- ・私自身が原付だけなので母と一緒に時はデマンドを利用しています。1時間前の予約がつい忘れがちになります。日曜日は家族と車でいきます。
- ・現在、自家用車の運転が可能で不便でないが、自分で運転できなくなった時は公共のバス等の利用になるので整備を願いたいと考える。
- ・今は車に乗れるから何も思っていないが、後10年もしたらやはり交通手段について、考えなければならない。
- ・飲酒のため車に乗れない時は、必要時にバスがない。自家用車で駅まで出るのに駐車場がない。必要な時にバスがないため、駐車場のあるJR駅まで自家用車で出る。
- ・買物に行きたい時にバスが通っていない。
- ・今のところ自分で運転しているので、南丹病院、亀岡、京都市内ぐらいいは行けるので不自由は感じていない。
- ・何についても交通の手段がない。自分で運転する方法しかない。
- ・バスの本数が少ない。
- ・現在は運転できているができなくなったら不便になる。バス停が近くないし、乗れても買物しての帰りの荷物が持てないと思う。

- ・普段はマツモトを利用することが多いのですが、駐車場も狭く建て替えでなく郊外へ移転して欲しかった。
- ・高齢になれば運転できなくなる時が来ると思います。買物に行きたい時間に行き、帰る便も自由にできる便が欲しい。
- ・徒歩圏内にスーパーがあればと思います。
- ・徒歩で買物に行くことがなく、バスも通っていないため、自家用車になってしまう。
- ・今の所は自分で運転できるので行きたい時に出かけられる。いずれはお世話になる時が来ると思っています。
- ・買物に行きたくてもバスが通っていない。
- ・何をすることも自分の車で移動することしかできない。亀岡清水病院へ行くにも自分の車で行くしかない。
- ・保育園、学校、市役所等スーパーまでの区間にバスが実際にとおっているかどうかの把握ができていない。乗り換え、所要時間などが分かれば利用するかも。

日吉

- ・買い物をする時荷物が多いこともあるので、自家用車が便利だと感じる。
- ・苗などを買いたいとき（湯浅苗店）胡麻から日吉間のバスの回数が1日1～2回ですので、日吉駅又は鍼灸大学前から歩いていますが、あまりにも距離があり、鉄道で八木等に出かけることとなります。小さなバスで、園部、胡麻の周遊バスがせめて1日4回ほどあればスーパーにも行きたく思っています。
- ・夫が運転できなくなった時への不安がある。
- ・マツモト、ダックス、コメリ等に行くバスが欲しい。病院に行くバスが欲しい。
- ・今のところ車の運転ができるので、特に不便を感じない。
- ・現在は自分の運転で買い物に行けるが、今後運転ができなくなった場合、どういった手段で買い物に行けるのか不安。
- ・現在は自分で移動できているが、後のことを思うと1人暮らしのためとても不安である。
- ・現在は自車を使っているが、高齢で自家用車が使えなくなった時の不安がある。
- ・マイカーに乗れる間はいいが、バスの本数が少ない。
- ・路線バスで満足している。
- ・近くに店が無いので、車で旧町外に行っている。近くに店や、コンビニが欲しい。車に乗れる間は、車を使いたい。
- ・店が遠い。
- ・今のところ自家用車で買い物に行っています。ただ距離が遠いです。
- ・行きはよいが、帰りのバスまで長く待っていないと困る。

- ・今は自家用車だが、高齢になれば電車やバスの利用を考えている。
- ・バスが朝7時40分と午後3時30分、5時しか走っていない。
- ・今は車が運転できるので特に不便さは感じないが、車が無かったり運転ができないととたんに買い物に不自由する。数人の予約制でマイクロバスをスーパーまで出すなど、行きたいときに行けるのが便利かと思う。
- ・買物に行きたい時間に行って帰る便が無い、胡麻から園部へ行くコースが欲しい。
- ・今の年ぐらいであればよいが、年を取ってくると買い物などの目的地にバスが停車するのか気になる。
- ・今のところ自由に自家用車で出かけている。
- ・バスと電車の乗継で不便です。
- ・病院などに行くバスが通っていない。朝早くや、帰りの便がなく、不便。
- ・停留所に徒歩40分くらいを要する。
- ・運転免許を返納すれば、買い物、通院がとても不便になり、住み続けることができなくなる。その時は、便利なところに転居するつもりです。
- ・主人が病気になり、私は65歳で運転免許を取りましたが、日吉町限定です。必要によりマーケスまで行きますが、あまり乗りたくありません。園部まで行きたいのですが、自信が無く、できたら、胡麻駅から園部行のバスがあったらと思っています。園部は電車で行っても駅のまわりに店は無く、不便です（バスの乗継が必要）。亀岡まで行ってしまいます。
- ・車に乗れなくなったら、自由に買い物に行けなくなるので大変困る。今から心配している。
- ・買物に行きたい時間に行って帰る時間帯にバスが無いので不便です。
- ・遠くの店へ買い物に行こうとすると、一日がかりになり、自家用車が不可欠である（バス⇒電車⇒バスなど、乗り換えが多く、待ち時間が長い）。
- ・①買い物に行きたい場所にバスが通っていない。
②バスの運行回数が少ない。
- ・荷物があるため、自家用車が便利に感じる。
- ・行きたい場所、時間に便が無い。
- ・今では自家用車で出かけるのでバスは利用していないが、車の運転ができなくなったときはバスを利用することになると思う。その時は不便さを感じるかもしれない。
- ・デマンドバスと路線バスの区別ができませんので、デマンドバスにさせていただきます。デマンドバスに乗車して農協等に行きましたが、帰りは大変不便で困っております。
- ・日吉町内にはコンビニもなく、何をかうにも車での移動が必要。

美山

- ・高齢者の買い物等に鶴ヶ岡は移送サービスを無償で実施している。この取り組みに南丹市が全面的にバックアップして頂きたい（南丹市の福祉移送の一部として位置付ける）。この取り組みを美山（過疎地）で取り組める様なシステムにする。
- ・車に乗るので今のところ不便ではない。
- ・今は自分で運転できているので不便さはないけど、10年後、15年後が不安。
- ・今は自分で運転し買物に行っていますので交通手段には不自由しておりません。
- ・特に。今のところ自分で出かけられるので。
- ・買物に行きたい場所にバスが通っていないし、買物に行きたい時間に行って帰る便がない。（いったい何を調べたいのか。日に3便しかない地域に何を尋ねているのだ。）
- ・近くでの買物で不自由なく満足している。
- ・バスが少ない、バス代が高い。
- ・今は車を運転できるので不自由はない。できなくなった時に近くに何でも揃う店があると良いと思う。
- ・今は自分が車に乗れるので行ける。園部駅まではバスが便利であるので利用したい。（日吉駅も）
- ・今は不自由には思っていない。
- ・少々遠いことが難儀。
- ・常に年を取ればどうするのか、できるのかと考える。
- ・特区を申請し、いわゆる「白タク」の必要あり。
- ・バスの連絡がない。JR-市バスなど特に。
- ・大野屋以外は自家用車以外の交通手段がほとんどない。バスを利用できても乗り換えや待ち時間等がかかり過ぎる。
- ・今のところは園部周辺には自家用車で出かけています。
- ・買物に行きたい場所にバスが通っていない
- ・京都市内に行くにしても、北村からは市バスの回数も多い事で便利が良いのでよろこんでいます。
- ・一人暮らしですが親類や近くの人に頼むのもみんな都合があると思って頼まない。日常の用事（買物、医療、その他）は主にデマンドバスと外出支援サービスを利用する。外出支援サービスの場合、たまにあるのでついでに一寸だけ買物や他の用事等をさせていただければうれしい。サービスなのでできるだけ早く用事をしなくてはならない事はわかっていますが。
- ・地元の大野屋へは歩いていけないことはないが、荷物もありいつも車で行っている。
- ・車で移動できる間はよいが、乗れなくなった時にバスや支援してもらえない手段がないと困る。

- ・車が無いと自由に買い物に行けない。遠いところまで行かないと一度に揃えられない。
- ・園部に出るよりも小浜に近くて便利で品数も多く安価。
- ・現在は自家用車で買い物に行っているが、運転ができなくなればスクールバス以外で午前2便、午後2便は必要だと思う。
- ・買物に交通手段がない
- ・大型店が近所がないので必然的に遠くの店に行かなくてはならず、2時間に1本程度のバスダイヤでは移動手段にはならない。もっと本数を増やしてほしい。
- ・あまりにもバスの本数が少なすぎる。
- ・100m以内ですので歩いていきます。
- ・自家用車に乗らない、運転できないなどになれば大変不便になると想像できる。
- ・園部駅西口の市営バス以外の交通がわからない。
- ・自家用車利用のため現在は特に不便を感じていない。
- ・今のところ自分の車で行きたいところに行けるが、70歳には免許返納後の交通手段がない。特に佐々里地区は山間僻地で人が少なく冬には雪が多いので最終的にはここでは住めなくなると思う。

【問 9】南丹市公共交通に関する自由意見

園部

- ・デマンド方式には賛成です。
- ・大橋から9号線を使つての南丹病院行きを午前中だけでもあつてほしい。今は園部駅からは出ているが、車が無いので、駅まで行くのが大変です。病院まで時間がかかりすぎです。JRバス以外西口行だが、改札口まで高齢者にはこたえる。東口行きもあつてほしい。
- ・バスの停留所の場所がわかる地図を配布してほしいと思います。
- ・スーパーの前に乗降できる停留所があればいいのと思う。
- ・本数を増やしてほしい。買い物にも駅にも行くようになると思う。
- ・午前中3回、午後4回くらいバスがやってくると便利で、停留所も歩いて自宅から5分以内のところであれば利用しやすいです。将来必ず車に乗れないときがやってきますので、買い物通院の手段として市内路線バスの継続をよろしくお願いします。
- ・現在パートで仕事をしています。職場の人が京都市内から電車で通勤していますが、駅から職場までバスが無いのでとても不便だと言っています。通勤時間帯（朝7時過ぎ～9時）にバスが無く、本数も少ないので、車で通勤している人が送迎しています。
- ・若い世代の方は、車を所有していることが多いので、60歳以上の方たちに意見を聞いてもらえたらいいなと思う。病院に行くことも増えるので、大変みたいです。
- ・過疎地、高齢化に伴い路線バスは必要かと思っています。生活に必要なスーパー、病院、市役所等の路線もあつてもよいのかなと思います。
- ・町の中心に、中継基地を設けるべき。
- ・高齢者を対象にした運行を増やすべき。
- ・土日祝日に、収穫祭等があるが、バスが運行していない。お祭りや大きな行事にはバスを出してほしい。（11月8日の氷室の里祭りも行けなかった）例えば、9月20日の京都丹波手作り市(るり溪温泉)等。
- ・もう少し本数を増やしてほしい。
- ・町内バスは税金の無駄遣い。病院行きの送迎バスのみでいいのでは。いつも空で走っている。
- ・高齢化地域が増加する中、長期的な展望で運営をお願いします。
- ・バスを利用したことがあるが、とても嫌な気分になる対応を味わってから乗りにくい。バスのまわり方を見ても分かりにくく、遠回りすることもある。
- ・保育所の送迎が終わって、バスに乗って駅へ行く本数を増やしてほしい。バス停が遠いので利用しにくい。

- ・近所で買い物ができる。病院棟も近所にあり、歩いていくことができている。町内以外は、家族の送迎を利用している。
- ・今まで利用する必要を感じなかったが、自家用車など自分の足がなくなれば、路線、時間等を教えてほしい。
- ・以前のように、市外へ行くバスも通してほしい。例えば祇園行、京都西方面とか…。京都駅まで（乗り換えなしで行けるので便利）なるべく園部大橋より行けるように願っています。よろしくお願いします。
- ・65歳ですが、自分で自動車が運転できなくなることが大変不安です。長年バスを利用しない生活をしていますので、シニアカーに乗り換えてでも、自分で行動したいです。
- ・行政サービスとして際限なく住民の要望に応じていくことは財政面でも技術的にも困難であると思うので、やはり民業の圧迫となると思うが、亀岡市の「アッシーの会」のようなボランティア組織を立ち上げ育成して、そちらの方に財政的な補助をしてやっていくしかないのではと思う。
- ・車に乗れなくなったら人生の終わりと思います。どこへも行きたくありません。病院へは自転車で行きたいです。
- ・今は家族一人ひとりが車をもっていて、不自由ないですが、高齢になって運転が危なくなればその時は市内路線バスを利用しようと思います。
- ・自家用車が無い人や高齢者にとっては、今後も必要なものであると思います。
- ・基本的に車、JRを利用していますが、車の不調時やお酒を飲みたいときはバスがあったらいいなと思います。しかし、都合の良い時間にバスが無く、残念ながら利用したことがありません。
- ・JRの終電時間に、バスがあれば利用する。
- ・設問が悪く、意図が分からない。再度アンケート内容を検討された方が良い。課長は誰？「統計的に処理」では本当のことはわからない。生の声を職員が聞き取り調査した方が経費もかからず本当の市民の声が分かるのではないか。
- ・市職員に対して、このアンケートを行って公表してもらいたい。市職員（議員も含む）自らがバスに乗ってもらいたい。回数券を強制的にでも職員は買うべきです。そして乗ってみるべきです。
- ・自分で運転できなくなったときに、利用させていただく事もあると思います。
- ・スーパーの前を巡回するバスを運行してほしい。
- ・ぐるりんバスを増便してほしい
- ・ぐるりんバスと京阪京都交通のバスの運行時間が同じにならないようにしてください。
- ・家族も高齢であり、通院、買い物、JR利用等に利用したいと思うが、行きたい場所や利用したい時間帯に運行しておらず、本数も少なく利用しづらい。要望として、①少なくとも1時間に1本ほしい②JRの時間に合わせてほしい③園部町内の主要箇所

行き④バス停の配置等考えてほしい。

- ・高齢なので、遠方への外出はしないので、バス利用の必要はありません。
- ・旧町内を経由して園部駅へ行くバスと、園部駅から旧町内を走るバスの本数をもう少し、増やしてほしい。
- ・以前のアンケート時にも意見、思いとして記載した、高齢になり通院をすることも増えてきましたが家族は日中仕事でいないため、公共交通機関を利用していますが、例えば南丹病院への通院では乗り換えをしなければなりません、それがとても大変になり、以前のように病院まで1本で早く（京都交通バス）行ける交通手段があると大変助かります。病院への路線バスはあるのですが、本数が足りません。
- ・現在は、利用する機会が無いので詳しく知らない。利用する路線は決まっているが、タクシーのように呼んだら来てもらえるようなシステムにするか、地域巡回型にして好きなところで乗り降りできたらうれしい。
- ・休日は本数が少ない。休日こそ、家族に利用してもらおうように1時間に2本は欲しい、また、帰りも列車が着くと必ずバスがあるようにしてほしい。
- ・町外 200 円の運賃を考える（摩気、西本梅が高い←摩気、西本梅を町外とされている）。
- ・町内 100 円。
- ・平日、休日の本数。
- ・内林や上木崎町などのコースを考えてほしい。JR、京阪京都交通など、協力してすべての道路にバスが止まるように考えてほしい。
- ・現在、園部町大河内に住んでいます。路線バス（ぐるりん、スクール）は運行していますが、日常生活に見合ったサイクルでの運行とは言えないように感じています。
- ・目的地まで時間がかかりすぎる。
- ・車が運転できなくなったときは、駅の近くに引っ越します。
- ・少数であっても必要としている人がある限り、行政として福祉の充実といった観点からも、維持継続してほしい。
- ・高齢者や子供にとって、路線バスは非常に大切な交通手段です。ぜひ存続をしてほしいと願っています。運賃が高く、回数が少ないために利用が難しいです。公的資金により、運賃を安くし、回数を増やし住民が積極的にバスを利用するように運動を強力に進めるべきだと思います。住民ぐるみのバス利用の取り組みが必要だと思います。
- ・近くに停留所があるが夜八時以降にバスが運行しておらず、高齢者には不便なのではないかと思う。
- ・もうちょっとバスの本数があれば、自分の家の近くのバス停から駅までを利用したいと思っています。
- ・自分は便利なところに住んでおり、徒歩で買い物、病院、役場に行けるので、バスの必要はない。必要な人について考えると、小型のワゴン車や福祉タクシーなど、一人

でも気軽に利用できる乗り物があればと思う。バスに乗っている人は少ないように思える（学生は別だが）。回数も少ない。

- ・ JR との連絡が少ないように思う。どの列車に乗って帰っても、連絡があればうれしいと思います。
- ・ どこをどう走っているのかまるで分らない。駅まで行くにも昼間はあまり町内を通っていない。駅からもどこを通っていくのか行先を見てもよくわからず、ぐるっと遠回りしたと言っている人もいる。
- ・ 車が無いので買い物には行けません。もっとバスを何回も走らせてください。誠に不便で困っています。
- ・ 高齢になり車の運転がしづらいので病院に行くのが大変です。特に桂病院や京都三菱病院へ診察や見舞いに行くのに困っている人が多い。何とか昔のように9号線を走るバスを復活させてほしいものです。たとえ数便でも。
- ・ 南丹病院～園部駅西口間のバスなんて理解できません。
- ・ 本数が少なすぎる。みんながみんな車を運転するわけではないからもっと利用しやすいよう本数が欲しい、行けるところをもっと増やしてほしい、電車と連携してほしい。バスが無いと困る人もいます。バスに頼っている人もいます。忘れないでください。そのことを。誰もが運転するわけではありません。
- ・ 今はバスを利用していませんが、無くなると多くの方々が不便になります。一番良い方法を考えて、前向きにいかれるとよいと思います。感謝のうちに。
- ・ 現在は路線バスを利用しなくても自分で行けるのですが、バスが運行していないと困る人もあると思いますし、バスが走っているのを見ると安心感がありますので、これからも運行を続けていただきたいと思います。バスの利用者が少なくて空車状態も多いと思いますが、そんな時などは、下車の時はバス停でなくても少しでも家に近い場所で下していただけるようになれば買物の荷物などがあるときは助かると思いますが、どうでしょうか？
- ・ 高齢になったら、市内路線バスを利用したく考えています。
- ・ 自家用車で運転するが、ほとんどは友達の人に車をさせてもらっている。自分自身運転不可能な場合も病院や買い物に行かねばなりませんので、どうしても必要である。
- ・ 他のバスより高いと思います。
- ・ もし運行するようになればせめて病院へ行く時間帯にお願いしたい。
- ・ 基本的なインフラの一つとして、採算が取れなくても維持してください。観光客のためにも必要と思います。
- ・ 運行中手を挙げれば止まってもらえるとういのは。安全上の問題はあってもいいが。
- ・ 利用者の状況を見て、もっと小型の車にすればよいのではないか。
- ・ 多人数の予定があれば（無いと思うが）あらかじめ、10日前までに連絡することに

してはどうか。

- ・鉄道との乗り継ぎが合わない。最低でも朝、昼、夕と上下線の運行を願う。
- ・以前利用していましたが、園部駅を降りてバスに乗ろうと思うと、階段を降りたところでバスが発車してしまったことがあり、今でも月に何度か出かけますが、バスの発車が少し早いように思います。
- ・今でも時々路線バスを利用したいが、時間が少ない。
- ・独居老人になった頃、お店などの行き先がバスにあればいい。
- ・バス停が遠いため、家の前から乗り降りができばうれしい。
- ・路線を色分けし、ぐるりと園部を一周できるバスがあればいい。今だと園部駅しか行けないので、丹医会病院に行けない。
- ・運賃が往復 500 円だと高すぎるので考えてほしい。
- ・足が悪くなると乗り降りが不便。低くしてほしい。
- ・自分の住んでいる地域を通るバスは常に乗客がいなくて、もったいない、無駄と感じる。
- ・どれくらい費用（運行の経費）が掛かっているのかわからないが、乗合タクシー等の割引に使うなどのほうが良いようにも思う。
- ・回数を増やしてください。
- ・車がまだないときバスを利用していたのですが、バスの到着、出発の時間と JR の発車到着の時間までの間がすごく短く子連れにはとても移動が大変で不便でした。もっとゆったりと移動したかったです。
- ・行動できる範囲で行動する。
- ・停留所の間地点に自宅があるお向かいのおばあちゃん。もっと停留所の数を増やしてもいいのではないかな。
- ・現在利用していないが、便利なイメージが無い。
- ・私たちのように市街地から離れた地域に住んでいる者にとって、高齢化とともに路線バスは不可欠になってくると思います。いわゆる買い物難民になってしまう。民間ではそれに対する宅配サービス等も行われているが、行政もそれに対応する策として、週に一度でも中心市街地と地域を結ぶ周遊バスを運行したらどうかと思います。町中が疲弊する前にもう一度町中に人を呼び込むためにも。
- ・今のところ不自由なく暮らしているのでわからない。
- ・今はバスを利用していないので、特にありません。
- ・帰宅時間が遅いので、夜の運行時間を延ばしていただいたら助かります。ぐるりんバスを利用していますがマナーの悪い運転手さんが中にはおいでになるので気がかりです。
- ・もっと本数を増やしてほしい。
- ・バスの本数を増やしてほしい。

八木

- ・高齢になれば自家用車の運転ができなくなるのでバスは必要である。
- ・買物や通院、その他で自動車に乗れない私はバスかタクシーしかありません。バスの回数を増やしてほしい。
- ・今はバイクに乗れるが、バスだったら時間帯が少ないから乗れない。
- ・今は将来バスを利用しようとは思わない（今は若いので高齢になった時のことは不明）。
- ・市内路線バスは利用しなくてもいいですが、国道9号線上り京都行き、下り園部行きバスを走らせてほしいと思います。利用したいのでよろしくお願いします。
- ・どこに停留所があるかわからない。
- ・近くに停留所がない。
- ・園部、千代川方面に買物にとっても、前は京都交通で便利に利用できたのですが、最近の国道を走るバスは大変不便になった。京都交通の時のように便利にならないか。そしたら園部に行くのも便利。南丹市になり何かと言えば園部で・・・なのに。
- ・バス停までの距離にもよります。また、電話で申し込みしてから乗りこまなければならぬ不便さがあり、「小型マイクロバス」等で定期、定時的に運行して欲しいです。
- ・狭い道をバスが通っているのは危ないと思います。
- ・もったいない。電話したら迎えに行くタクシーで補助金を出した方が安いのと違うかな。白タクでもいい（商工会にさせたら）。
- ・どのようにデマンドバスを利用すればよいかかわからない為、説明していただきたい。
- ・できれば便利なところに住居を移りたい。バス停まで行かずにバスを家の近くに停めてほしい。
- ・利用者には必要と思いますが、乗車数が少ないのに大きなバスは不要と思います。小型化して便を増やす、連絡すれば近くまで来てもらえたりできる、時刻ではなく時間帯運行すれば利用があがると思います。「のせる」→「のってもらう」
- ・高齢になって運転が出来なくなった時、家の近くに停まって欲しい。
- ・手を上げれば自由に乗り降りできるようなバスを運行して欲しい。
- ・家族全員が車を保有しているため、現在デマンドバスは利用いたしておりません。しかし高齢になり免許証を返納した場合は、利用させていただきます。
- ・自分は不便を感じていないが、帰りのバスの時間の1時間前に予約するのが難しいと人から聞いたことがあります。
- ・バスを利用しなくても自転車、徒歩で日常生活に不便を感じないため将来もバスを利用しないと思います。
- ・小型車で路線を増やし、停留所・バスとも増やして欲しい。
- ・電話したら1時間以内をお願いします。（デマンドバス）
- ・近くに停留所がないし、時刻表どおりに来ないのと運賃が高いから利用しない。

- ・遠回りするからかえって時間がかかる。待合室で待っていてもスイーッと行ってしまいます。やさしさが無い。
- ・これらがなかったらいつでも乗りたい。
- ・最近のニュースで認知症の方の事故をよく聞きますが、認知症の方だけでなく高齢者の方みんなが75歳などの年齢を決めて運転免許証を返納する方が望ましいと考えます。ですが、その為には市内の路線バスが高齢者のニーズに応えられるバスの運営をお願いしたいです。デマンドバスにおいても1時間前に予約しなければならなかったり、利用されている方からも不満を聞くことがあります。「返納したらその分あんたらが送迎してくれるのか?」と言われて「しますよ」と二つ返事で返すことはできません。なぜなら仕事や子育てがあり両親のためにさける時間はありません。両親が安心して免許証を返納しても同じような生活ができる為の路線バスを走らせていただけたらうれしいです。よろしくお願いします。認知症の方の運転でこれから未来のある人達の命を奪ってはいけけないのではないのでしょうか。お互いの幸せを願ってやみません。
- ・本数が少ないイメージがある。京都市内のバスのように本数が多ければ気軽に利用しやすくなるのだが。
- ・停留所でもなくても乗降できるとありがたいです。
- ・バス停が遠く将来運転できなくなってもバス使用が不便。バス停まで歩けない。各地区に2カ所程バス停が必要なのでは。将来一人暮らしになると日常生活(買物・通院)が心配。もっときめ細かいバス運用を希望します。
- ・市内の移動は自家用車、家族の送迎を利用しており、今のところ利用しなければならない理由がない。
- ・八木～氷所～日置線・・・昭和33年4月16日開通(4往復/日:日の丸小旗を振り沿線住民が喜んだ)、昭和45年4月1日～休止
- ・園籬線(園部八木線):園～室～日～氷室～池上～八木・・・平成19年10月1日～東地区を通ることなく利便性なし
- ・八木～氷所～神吉線・・・平成23年10月1日～各家庭に自家用車がその人数分保有されている状況であり、かつ、町中心部に限られた商店のみである。何とか早く駅西區画整理を進め、又、特別の優遇施策をするなどして市街地住居を増やし、商店街の活性化を図る。シティホールの空き部屋が多くある。これの活用を考えるべし。そうした中でバス利用も出てくる。※バスも大型ではなく、中型小型でも良いのでは。
- ・超高齢社会の今日、まだまだ高齢者は増加の一途。しかも戦後の核家族化が定着した為、一人暮らしの高齢者が増えます。どうぞきめの細かい施策の充実にご尽力くださいませ。感謝。
- ・利用時間と目的利用時間の差が少ないことで利便感が強くなり、利用度も高まると思う。運賃が少額である。
- ・停留所の配慮。体を休める椅子等を設置、雨風を防ぐ設置、配慮を要す。

- ・待ち時間を楽しく過ごせる憩いの場でありたい。
- ・安心安全な待合場所でありたい。
- ・他の地域ではデマンドバスの保証があるのに、神吉の年寄には保証がないのは不公平ではありませんか。声を出さないから何もしてもらえないのですか。人に乗せてもらってもお礼もするので何とかバスに乗る補助的なことを考えてほしい。
- ・母と二人で出かける時はいつも利用しています。私一人で出かける時も利用する時もあります泊りで娘の所へ行くのにバイクを3日預けるよりデマンドで行き帰りする方が安いいため。
たまに待たせてしまうことがあります。ごめんなさい。いつもありがとうございます。
- ・今後高齢化で（私もそうですが）利用する人が多くなると思う。
利用するので不便の生じないように路線の整備を推進していただければ幸いです。検討してってください。
- ・神吉で運行されている京阪京都バスは大きすぎる。もっと小さな10人乗りくらいの車で運行されたら費用も同じ位で運用できるのではないか。
- ・今後、バスを利用するかどうかは、自分が運転できなくなる時に考える。
- ・足が痛いのでバス停まで行くことが苦痛。路線バスを利用するのならタクシーを利用する。でも路線バスを不要とは思わない。利用されている方があるのなら。
- ・タクシーを使うデマンドバスは最高だと思います。必要な時に1時間前に予約するシステムが財政的にも良いと思います。園部町のぐるりんバスを廃止し、デマンドタクシーでどれだけコスト削減できるか見てほしいです。
- ・カラ運転をすること程もったいないことはないです。高齢になると物忘れが激しくなるので一番デマンドがよいと思います。タクシー会社はデマンドで儲けたお金で一般の（タクシー）の運賃を安くし、車を持っていない人たちを乗りやすくして欲しいです。そうすれば、幅広い年齢層を助けることになります。京都市内のように運賃を下げ、田舎の人を救う努力をして欲しいです。飲酒運転撲滅にも繋がると思います。どうか無駄なお金は使わず、皆のために頑張ってください。宜しくお願いします。
- ・私はとても便利なところに住んでいるので年をとっても何とかなると思っていますが、マツモトなどでよく、タクシーで買い物に来ているお年寄りがおられますが、年金生活でお金が足りるのか心配になります。又、お年寄りの方は南丹病院へ行き、マツモトに行き、商店街へととぼとぼ歩いておられますが、夏に一度倒れた方を病院に連れて行ったことがあります。町中にちょっと休憩できるようなところ、又はイスなどがあればいいと思います。
- ・今は自分で運転が出来るので、自動車に乗れなくなったら考える。
- ・路線バスのない地域です。デマンドタクシー利用です。高齢になった時、通院や買物が不自由になります。デマンドダクシーを自由な時間に使用できるようにして欲しい。
- ・行きたい場所に運行しておらず、本数が少ない為、利用することがない。

- ・時々利用したいと考えている。
- ・1時間前に前もって予約をしなければならない点がめんどくさい。予約なしで毎日決まった時分に運行していれば。考え方が違うかもわからないが、行程も種々な路線を考えてほしいです。
- ・生協を利用するのでバスは利用しません。
- ・どの道を通っているのか知らない。

日吉

- ・子どもが通学で利用するので、学校が終わる時間帯や放課後の時間帯の本数を増やしてほしい。不便を感じる。
- ・自動車に乗れなくなったとき、バスを利用したいと思うが今の停留所では家から遠くて歩いていくことができないと思う。利用したくても利用できない。家の近くで乗れる方法を考えてほしい。
- ・今よりも歩けなくなったとき、診療所や郵便局に行くのに利用したいと思う。家の近くにバスが止まり、近所の人も喜んでいる。今後とも、よろしくお願いします。
- ・子どもが学生の頃バスの通学で苦労した。しかしバスの現状を踏まえるとそんなことは言えないのは確かである。大学になるとそういった理由から府外の大学へ出て行ってしまった。
- ・15分に1本は運行してほしい。
- ・なんとなくだが、身近に利用しやすく感じられない。
- ・もっと本数が必要・1時間に一本は必要・JRとの接続を考えたダイヤを設定すべき
- ・社協の支援サービスと融合したような誰でも使えて安く便利に利用できるシステムはできないものか。
- ・路線バスが大きすぎる。子供も減少しているのに昔のままの大きなバスが走っている。日常はもっと小さなマイクロほどのバスにして、乗り降りがしやすいのを走らせてほしい。1度だけ利用したが、横座り（進行方向）はなんだか不安でした。
- ・乗客の無い時間帯は廃止にするといい。※アンケート文のチェックができていない。
- ・バスの便が少なくて、不便そうだと思う。もっと小さいバスで良いので、頻繁に走ってほしい。
- ・路線バスを利用しなくなっても、停留所が遠くて高齢者にはつらいと思う。
- ・車を運転しているが、イベントのある時などはバスを出してほしい。車でイベントへ送りたいが人数に限られるため。
- ・デマンドバスを利用させてもらえて、ありがたく思う。
- ・今は時間を優先する時代なので、不便すぎる。今後も過疎化が進み、希望するサービス、

便利な交通環境が与えられるとは思えない（感じられない）。今の世代が高齢になった時は、ネット等である程度解決できると思う。

- ・京都市内のバスのように回数が多くないので、利用しづらいところがあります。でもこれから年を取って車の運転ができなくなったときには、買い物、病院などに行くときは必ず利用せざるを得ないと思います。
- ・路線バスは必要であると思うが、自分の場合車の運転ができなくなれば、歩行困難な今、遠方の停留所に歩いていくのはとても無理である。車が無くては生活ができない今の暮らしを思う。
- ・本数が少なく不便さもあるだろうが、高齢になり、運転できなくなるとバスがあることはとてもありがたい。利用者数は少ないかもしれないけど、その少数の人たちにとっては無くてはならないものだと思う。いずれは自分もそうなると思う。予算面など難しい問題はあるだろうけど、路線バスの必要性はとても大きい。
- ・朝、夜の利用客及び小中の通学はあるが、それ以外の運行についてはから運行が見られる。
- ・バスをよく見るが、中には客が乗っていない。市バスは不要です。一人か二人か三人か必要と思う人はあるかもしれないが、全ての人に満足のいくようなことはできない。バスよりも別な方法を考えたい。
- ・本数を増やしてほしい
- ・路線バスがあるのはありがたいことです。自家用車に乗れなくなったときは、すぐさま利用させていただきたい。できるだけ細かく家の近くまで来ていただくとありがたいです。
- ・園部まで買い物に行くのに不便です。買い物の時間帯に合わせての運行が望ましいです。
- ・大型バスでなく、小型で乗降口が低いバスで、家の前でも止まる、タクシー型バス、そして運賃が均一である路線バス又は園部のマツモト、サウ等店の前に止まるバスの運行など、試験的に走らせてみたらと思います。お金の問題があると思いますが、何でも挑戦だと思います。
- ・乗客の少ない時間帯には高齢者に半額又は無料で利用してもらうなどの活用策を導入してみてもどうでしょうか？
- ・将来的に展望の見当たらないところであるため路線バス運行は無理。
- ・JR線沿いに住んでいるので、JRの充実を希望する。市としては費用対効果を踏まえながらバスの利用者の利便性の向上を図ることは大切だと思います。
- ・胡麻駅から園部行、京丹波のマーケスやコメリ行きがあればと思います。
- ・もう少し、路線バスが走っていれば利用できると思います。電車の時間と合っていないと思います。最終バスの時間が早いと思います。
- ・買物等で荷物がいっぱいあるときには、停留所が家より遠い場合、天候が悪いなどあれば、利用することが少し遠のいてしまうかもしれない。

- ・バスがなかったらどこへも行けません。1人暮らしなので、本当に助かっております。友達も年を取りあまり乗せてくれませんので。
- ・路線バスの時刻表を、丈夫な紙に大きな文字で書いていただきたい。
- ・今は自家用車の利用で足りているが、将来は不安。
- ・土曜日は長く待たなくてはいけないので、回数を増やしてほしい。無理かもしれませんがもっとバスの時間と回数を増やしてほしいです。バスを利用しているから、バスをなくさないでほしいです。デマンドバスより路線バスが乗りやすいので、どの運転手さんも愛想よくしてほしい。(挨拶など)
- ・市街での路線バスは利用価値があると思うが、市街の拠点間を結ぶバスは定期運行と市、拠点から各地域を結ぶ交通手段としては不定期の予約タクシーのような公共交通にしないと、日常生活に利用できないのではないか。従来の路線バスだけでは辺境地に暮らす住民にはメリットが少ないと思う。
- ・現在のところ、私は自分で運転して好きなところへ好きな時間に移動できるので、正直このアンケートが届くまで路線バスについて感心がなく、知らないことがたくさんありました。これを契機に、路線バスのことを知り考えていきたいと思います。丹波マークスに買い物に行くと、出発時間のお知らせをよく耳にします。とても好感が持てます。人が良く集まったり、使ったりする施設や機関、店等にもっと協力していただけたらいいなと思います。
- ・今までに利用したことが無いので、わからない。
- ・自家用車を運転できなくなるか、家族も乗せてくれない状況にならないとわかりません。
- ・家から目的地まではバスで行けるが、帰りの時間が思わしくないので困っている。
- ・美山線の対応が悪すぎる。

美山

- ・このアンケートには回答欄が足りない(適した回答がない)のと、役所の視点でしか考えられていない。本当の利用したい人のニーズには合致していないと感じる。本当のサービスは現在の財政では難しいと思われる。学割の定期代は高すぎる。よりよい市バスサービスを目指しているのか?本当に?誰が記入しているかまるわかり過ぎるアンケートである。
- ・高齢者の足として、より便利になってほしい。
- ・自家用車に乗れないということは、バスの停留所までが行ける場合で、そうでない時はバスも乗れない。
- ・今の状態でいいのでとにかくバスを無くさないで下さい。無くなると本当に困ります。小型マイクロバスにすれば経費が少なくなるのではないのでしょうか。

- ・バスの乗降の際、高齢者には段差が大きすぎる。知井地域で冬場でも段差の少ないステップバスを運行して欲しい。
- ・とにかく不便なのは変わらない。
- ・現在、家族の送迎を利用していますので長年バスを利用したことがなくわかりません。家族の送迎が出来なくなったら、病院行きや買物、お使いなども大変不便で困ると思います。
- ・今のところ、いろんな役を持っているので自家用車でないと不便である。いつもバスが「空」で走行されているのを見ていて心苦しく思っている。バスがなくなると益々町がさびしくなるのでなくさないでと願う。今、川谷まで来てもらえているのでとても感謝している。月に1回サロンなどでバスを利用してお出かけする計画をたてたい。
- ・今は大丈夫です。
- ・どんな理由があっても、利用者が一人でもいればバスがほしい。ただし、小さな乗り物でよい。
- ・地域も広く、充実した路線バス（1時間に1本程度）運営は不可能でしょう。「白タク」特区申請が現実的でしょう。
- ・年末に運行されないからふるさとに帰りづらいようです。（車を持っていても雪の心配もあって）
- ・デマンドバス、福祉バス等、高齢者弱者に対する対応は充分できていると思うが、今のところ心身ともに健康ですのでしばらく頑張ります。
- ・バスは大きいのが誰も乗っていないのに1日に4回走っています。もっと小さいバスで運行の方がいいのかなと思います。私はバスで時間を見る位です。これから利用するかどうかわかりません。
- ・デマンドバスは使いにくい。バスの本数が少ない。
- ・もっと高齢になり車に乗れなくなったら生活できない。外（人）との接点がなくなり、いわゆる刺激がなくなり、人としてより老いていくのが目に見えます。交通は人の生活を守り、心身ともに豊かにしてくれるものと考えます。どうかももう少し便利になることを切に願っています。車ももう少しです。よい方法をよろしく願いいたします。
- ・美山町内での移動についてはデマンドバスによって以前より改善されたが、回数の少なさが不便である。JRを利用して市外に出かけようと思うと連絡等も悪く、とても利用できない。例えば、綾部に出かけるのにバスで和知駅に出ると、下り列車には1時間待ちであったり、帰りに和知駅での適当なバスがないなど不便である。和知駅へのデマンドバス利用を実施していただきたい。園部行のバスも「大野」からでは利用できない。高齢になって運転できなくなった時の移動手段がほとんどないのが心配である。小さなバスでこまめに運行して欲しい。
- ・たった1~2分のことだと思えるのに集落を通らず、トンネルを抜けてほとんど空で走るバスを見ると、住民サービスをする気はないのだとつくづく思います。日吉駅で乗り継げ

ば園部駅まで行くことなく京都へ30分余りも早く着くのにと腹立たしい思いで乗っています。(※13:04日吉駅着、JRは13:03発)周山～京都への乗り継ぎも最悪。加齢と共に田舎暮らしは困難になりつつあります。

- ・いつも路線バスを利用させてもらっています。運転が出来ない者にとっては本当にありがたい事です。移動手段のない者にとって、路線バスはいつまでも続けて欲しく思います。
- ・あまりに乗る人が少なく、第一は自家用の人が多から利用しないのだろう。時代の流れとは言っても、路線の経路に問題がありそう。例えば、年寄は乗っても乗らなくても月何千円かを出して、その間はいくら乗ってもよいとか。
- ・運転できるのも善し悪し。今まで楽に自由に外出していると、いざ年を取り免許がなくなると時間表を見て2.3回も乗り継いでいくのができない。じゃまくさい。ずいぶん年を取った人でもいまだに運転をしているのも問題。
利用はできるだけしているが、行くところと時間があっていなくて困る。時間表をいくら見ても乗り継ぐ時間が合わない。
- ・良いバスを回してもらっているのにあまりにも乗る人が少なくて気が引ける。バスがあるところまで出なくてはならない所もあり、月水金はデマンドバスを利用しているが、火木土日は出なくてはならない時があり、不便を感じる。今日は運転する人があまりにも多く、年寄でも運転している。と言って、お願いするのいろいろな点で嫌だ。(第一、もしもの時を考える。)私はお金の問題なしに本当にありがたいと思う。路線バスが通っている村は羨ましい。
- ・路線バスがなくなったら困ると思います。今の停留所まで行くのも行けなくなりそうです。デマンドバスについて、今は自分で運転できるのでいいのですが、近い将来利用させていただくことになると思っています。詳しく路線バスやデマンドバス利用について知りたいです。主な外出は、病院行きで帰りに日用品等を買ってきます。現在利用していないのになくなったら困る(というのは勝手すぎるとは思いますが、利用状況もわからないので何分よろしくお願いします。
- ・病院や買物、駅などへ生活の時間帯に合ったバスを走らせてもらえると将来有難い。大きなバスでなくてもよいし、予約するなら簡易な方法でできるようにして欲しい。
- ・京北までは京都市内からバスが運行されているが、美山⇄京都間の直通バスがあれば便利だと思う。乗り継ぎがとても不便。
- ・現在はまだ自家用車を運転できるから利用しないのだと思っている。現在利用している方のことを考えると赤字だと思いますが、買物だけではなく心身のリフレッシュも兼ねて出かけておられると思う。人間として生きがいの一つとして社会見学も兼ねている。
- ・市内路線バスは廃止したらよい。税金のムダである。
- ・発着本数を増やしてください。少ないからみんな乗りたい時間に乗れなくて車を利用するという悪循環に陥っている。

- ・土日に平日運行をして欲しいという声を聞いたことがあります。仕事や外出で不便になるとのことです。平日運行は無理でしょうが、土曜日の仕事の時に出勤時間に間に合わない為、何とかして欲しいなあとも言っておられる方がいました。
- ・運転できないようになるのも間近です。その時はバス等をお願いします。
- ・運転者の愛想が悪い。もう少し本数を増やしてほしい。
- ・平屋の安掛で大変長い時間待ったがバスが来ないので病院の方に送ってもらったことがある。
- ・乗継、接続をシンプルに組みなおしてください。運営方法にまだまだ検討余地があると思います。
- ・今のところ運転できるので好きな時に好きなところへ出かけているが、運転できなくなれば、市バスが必要になることは明らかです。冬の積雪時は今でも利用したいと思うことがあります。市民、特に高齢者にとっては必要な交通機関であるのでこれからも運行して欲しい。
- ・愛想の良い方と悪い方（運転手）がおられる。
- ・朝、昼、夕方の便が欲しい。
- ・高齢等により自家用車の運行が出来なくなった時に路線バスを利用させていただきます。利用していないので意見を申し上げることはできませんが、高齢者の勝手な要望やその他の運行要求を取り上げての運行計画を立てていただくのは大変かと思いますがよろしくをお願いします。
- ・細くとも永く続くようにしなければならない。隣人が助け合わなければいけない。今は挨拶もしない会釈もしない。人に同情されたら仇で返す勝利感、若い者が強いという野蛮性、人前の挨拶は演劇的で裏は偉そうにする。税金とか予算ばかりでなく人の心で知恵を出していかなければならない。隣人が倒れたら面白いでは自殺行為や特に名誉欲はいけない。路線バスばかりではない。まず健康な生活や頑張るだけ頑張っただけ辛抱するだけ辛抱する。元町会議員と親族は偉そうにして有形無形の悪い影響を及ぼしている。
- ・私は農家民宿 B&B を経営しているが、お客さんがここまでバスで来るのは難しい。いつもかやぶきの里のバス停で待ち合わせをする。お客さんは乗り継ぎが難しく時間がかかるといふ。週末、祭日では利用しやすいバスを走らせてほしい。この地区は高齢者が多いが、あまり路線バスを利用しない。朝のバスで診療所へ行っても夕方にしか帰れない事もしばしばで、私はよく乗せている。難しい問題だと思う。路線バスは走ってほしいが、利用者が少ないからだ。
- ・バス停が近いので、あまり問題ない。

參考資料

南丹市の路線バス交通に関するアンケート調査

南丹市内には市営バスや民間の路線バスなど複数のバス交通が存在し、通勤・通学や買物や通院など日常生活の交通として市民の皆さまに利用されています。しかしながら、自家用車の普及が進んだことや人口減少、高齢化など様々な要因により路線バスの利用者が年々減少している状況があります。

このアンケート調査は、地域内のバス交通をより便利で使いやすいものとし、将来に向けて持続可能な公共交通を構築するため、皆さまの日常の移動状況や路線バス等に関する意見やご要望を把握するために実施するものです。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、アンケート調査にご協力くださいますようお願いいたします。

南丹市 企画政策部 地域振興課

《アンケートにご回答の前に、こちらをご覧ください。》

- ◆このアンケートは、市民の皆様の中から、1,000世帯を抽出し、世帯主の方にお送りしています。
- ◆調査票への記入については、世帯主と15歳以上のご家族（3名まで）の方にご記入いただきますようお願いいたします。
- ◆調査結果につきましては、本調査の目的以外に使用することはありません。
- ◆回答は無記名で、統計的に処理されますので、個人が特定されることはありません。

【調査票の返信について】

- ◆調査票の記入が終わりましたら、調査票を同封の返信用封筒に入れ、**切手を貼らずに、平成27年11月20日(金)までに、ポストに投函してください。**
- ※調査票・返信用封筒に、お名前やご住所を記入いただく必要はありません。

【お問合せ先】

南丹市 企画政策部 地域振興課
〒622-8651 南丹市園部町小桜町47（南丹市役所本庁1号庁舎3階）
電話：0771-68-0019
FAX：0771-63-0653

南丹市の路線バス交通に関するアンケート調査

◆ 調査票 ◆

設問	選択項目	回答欄			
		世帯主	ご家族	ご家族	ご家族
問 1	あなた自身についてお聞きします。該当するもの一つを選んでください。	※あてはまる番号を左記「選択項目」から選んで番号を記入ください。			
性別	①男性 ②女性				
年齢	①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代 ⑧80代以上				
職業	①会社員・公務員 ②自営業 ③農林漁業（専業） ④パート・アルバイト ⑤高校生 ⑥大学生・専門学校生 ⑦専業主婦・主夫 ⑧無職 ⑨その他 ※その他の場合は具体的に記入ください。				
お住いの地区	【美山町】 ①宮島 ②鶴ヶ岡 ③大野 ④平屋 ⑤知井 ※よろしければ区名も記入してください。				
問 2	運転免許の有無についてお聞きします。	※あてはまる番号を左記「選択項目」から選んで番号を記入してください。			
運転免許の有無	あなたは、運転免許をお持ちですか。 ①持っている ②持っていない				
運転免許の種類	運転免許を「①持っている」と回答した方にお聞きします。 運転免許の種類をお答えください。 ①自動車運転免許 ②自動二輪免許 ③原付免許				
運転をする年齢	何歳まで運転を続けようと思いますか。 ①65歳 ②70歳 ③75歳 ④80歳 ⑤運転ができる限り続ける ⑥その他 ※その他の場合は具体的に記入ください。				

設問	選択項目	回答欄			
		世帯主	ご家族	ご家族	ご家族
問 3	<p>あなたの普段の移動手段を、外出目的ごとにお聞かせください。</p> <p>(下記の外出目的のうち、該当するもののみお答えください。)</p>	<p>※あてはまる番号すべて記入ください。</p> <p>※外出目的（その他）につきましては、外出の目的もご記入ください。</p>			
外出目的	移動手段				
通勤	①自家用車（自分で運転） ②バイク ③自転車 ④鉄道 ⑤路線バス ⑥デマンドバス ⑦タクシー ⑧家族などの送迎 ⑨外出支援サービス等の福祉サービス ⑩徒歩 ⑪その他				
通学	①自家用車（自分で運転） ②バイク ③自転車 ④鉄道 ⑤路線バス ⑥デマンドバス ⑦タクシー ⑧家族などの送迎 ⑨外出支援サービス等の福祉サービス ⑩徒歩 ⑪その他				
買物	①自家用車（自分で運転） ②バイク ③自転車 ④鉄道 ⑤路線バス ⑥デマンドバス ⑦タクシー ⑧家族などの送迎 ⑨外出支援サービス等の福祉サービス ⑩徒歩 ⑪その他				
通院	①自家用車（自分で運転） ②バイク ③自転車 ④鉄道 ⑤路線バス ⑥デマンドバス ⑦タクシー ⑧家族などの送迎 ⑨外出支援サービス等の福祉サービス ⑩徒歩 ⑪その他				
その他	①自家用車（自分で運転） ②バイク ③自転車 ④鉄道 ⑤路線バス ⑥デマンドバス ⑦タクシー ⑧家族などの送迎 ⑨外出支援サービス等の福祉サービス ⑩徒歩 ⑪その他	(外出目的)	(外出目的)	(外出目的)	(外出目的)

問 4	あなたが普段買物する場所、店についてお聞かせください。				
買物する地域	①市内（住んでいる旧町内） ②市内（住んでいる旧町外） ③市外				
買物する店	市内でよく利用する店（店の名前）を回答欄にご記入ください。（いくつでも結構です。）				
買物時の不便さ	あなたは日常の買物に出かける時の交通手段について不便さを感じていますか。 ①感じていない ②不便だと感じる				
ご意見	日常の買物をするときの交通手段について、ご意見をご自由にお聞かせください。（例えば、買物に行きたい場所にバスが通っていない、買物に行きたい時間に行って帰る便がないなど）				

「問5」以降は、市内の路線バス（デマンドバスを含む）についてお伺いします。

設問	選択項目	回答欄			
		世帯主	ご家族	ご家族	ご家族
問 5	あなたは、市内の路線バスを利用していますか。	※あてはまる番号を記入ください。			
利用の有無	①利用している ⇒ 「問6」へ ②利用していない ⇒ 「問7」へ ③利用できない ⇒ 「問7」へ				

設問	選択項目	回答欄			
		世帯主	ご家族	ご家族	ご家族
問 6	問5で「①利用している」と回答した方のみお答えください。	※あてはまる番号を記入ください。			
利用している路線バス	<p>現在、あなたが利用している市内路線バスをお聞かせください。（複数回答可）</p> <p>①市営バス ②デマンドバス（美山地域） ③デマンドバス（日吉地域） ④デマンドバス（八木地域） ⑤ぐるりんバス（市街地循環線） ⑥ぐるりんバス（摩気・園部東部線） ⑦ぐるりんバス（西本梅ヶ丸・癒しの森線） ⑧八田線 ⑨園篠線 ⑩神吉線・原神吉線 ⑪園部八木線 ⑫園福線</p>				
利用区間	最もよく利用するバス停の区間をお聞かせください。	～	～	～	～
移動頻度	<p>①ほぼ毎日 ②週に2～3回 ③月に1～2回 ④その他 ※その他の場合は具体的に記入ください。</p>				
路線バスを利用する理由	<p>市内路線バスを利用する理由をお聞かせください。（複数回答可）</p> <p>①近くに停留所があるから ②行きたい場所に運行するから ③利用しやすい運賃だから ④利用したい時間帯の運行ダイヤがあるから ⑤他に移動手段がないから ⑥駐車場の心配をしなくてもよいから ⑦その他 ※その他の場合は具体的に記入ください。</p>				

路線バスの問題点	<p>市内路線バスを利用して問題と思われる点をお聞かせください。（複数回答可）</p> <p>①運行本数が少ない ②運行時間帯が短い ③運賃が高い ④近くに停留所がない ⑤目的地が停留所から遠い ⑥時刻表どおりにバスが来ない ⑦乗り心地が悪い ⑧混雑する ⑨乗り降りが不便 ⑩鉄道との乗り継ぎが悪い ⑪その他 ※その他の場合は具体的に記入ください。</p>				
問 7	<p>問5で「②利用していない」「③利用できない」と回答した方のみお答えください。</p>	※あてはまる番号を記入ください。			
利用していない理由	<p>市内路線バスを利用していない理由、利用できない理由をお聞かせください。（複数回答可）</p> <p>①自家用車、自転車、バイクなどがあり、バスを利用しなくても済むから ⇒ 「問8」へ ②家族の送迎を利用するから ③タクシーを利用するから ④近くに停留所がないから ⑤行きたい場所に運行しないから ⑥時刻表どおりにバスが来ないから ⑦運賃が高いから ⑧利用したい時間帯にバスが運行していないから ⑨バスの乗降口が高く、乗り降りができないから ⑩乗継などが複雑で利用しづらいから ⑪その他 ※その他の場合は具体的に記入ください。</p>				
問 8	<p>問7で①「自家用車、自転車、バイクなどがあり、バスを利用しなくても済むから」と回答した方のみお答えください。</p>	※あてはまる番号を記入ください。			
将来の利用について	<p>高齢になったなどの理由により、自家用車等を運転できなくなった場合には、市内路線バスを利用しようと思いませんか。</p> <p>①利用しようと思う ②利用しないと思う</p>				

設問	選択項目	回答欄			
		世帯主	ご家族	ご家族	ご家族
利用しない と思う理由	<p>市内路線バスを「利用しないと思う理由」をお聞かせください。（複数回答可）</p> <p>①家族の送迎を利用するから ②タクシーを利用するから ③近くに停留所がないから ④行きたい場所に運行しないから ⑤時刻表どおりにバスが来ないから ⑥運賃が高いから ⑦利用したい時間帯にバスが運行していないから ⑧バスの乗降口が高く、乗り降りができないから ⑨乗継などが複雑で利用しづらいから ⑩その他 ※その他の場合は具体的に記入ください。</p>				

問 9	<p>市内路線バスに関するご意見・ご要望等をお聞かせください。 （ご自由にお書きください。）</p>

アンケート調査は以上です。ご協力ありがとうございました。

【 アンケート調査票の提出方法 】
この調査票を返信用封筒に入れ、切手を貼らずに、
平成27年11月20日までに、ポストに投函ください。

■南丹市営バス及び南丹市デマンドバスの実態調査(日吉・美山地域) 報告書〔概要版〕

1. 利用状況の把握

(1) 市営バス

○定期外利用者数の横ばい

- ・定期利用者は減少傾向にある。
- ・一方、定期外利用者数は横ばいにある。

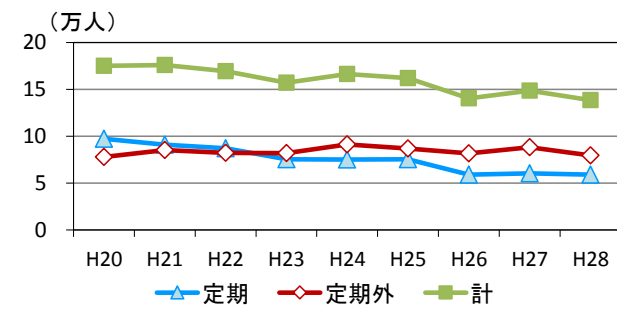


図 1 市営バス利用者数の推移(スクールバス除く)

○運賃収入は増加傾向

- ・運賃収入は増加傾向にあり、平成 28 年度がこれまでの最高額である。

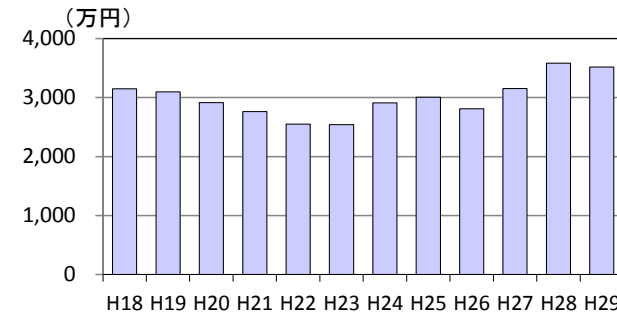


図 2 市営バスの運賃収入の推移

○地域バランス

- ・日吉地域：利用の 5 割を占めていたが減少傾向にある。
- ・美山地域：利用の 2 割まで減少している。
- ・園部線・京北線：増加傾向にあり利用の 5 割を占める。

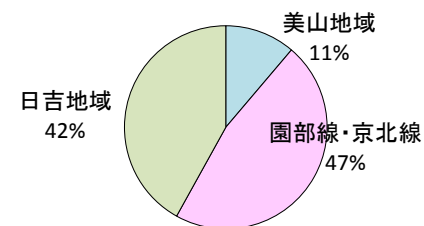


図 3 市営バス利用者の割合【旧町別】

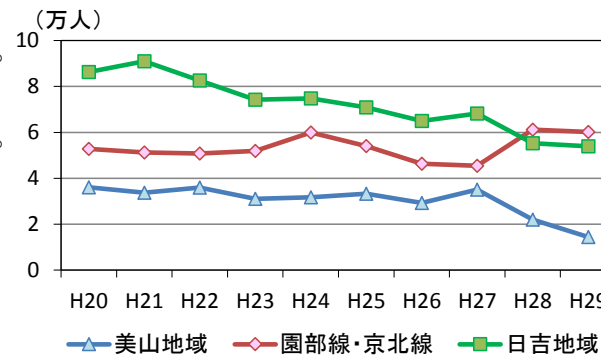


図 4 市営バス利用者数の推移【旧町別】

(2) デマンドバス

○日吉地域は大幅に増加、美山地域は横ばい

- ・日吉地域でも特に、中世木線、胡麻線での利用が多い。

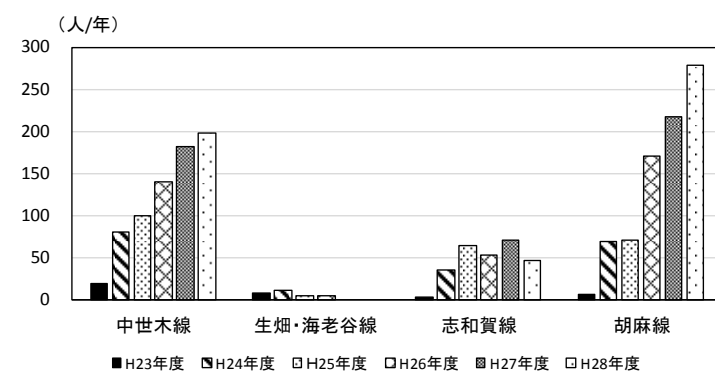


図 5 デマンドバス利用者数の推移【日吉地域】

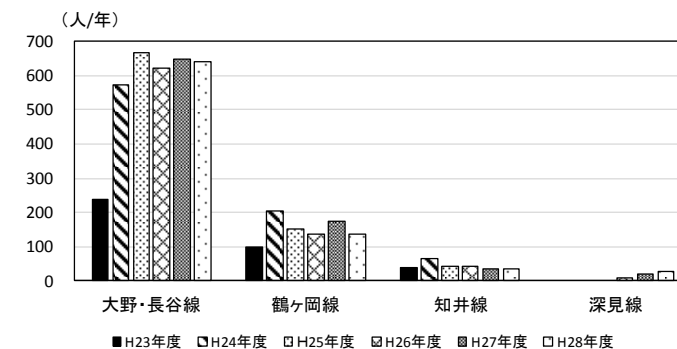


図 6 デマンドバス利用者数の推移【美山地域】

2. 路線別の利用状況の把握〔乗車記録〕

【新規取組】

○平成 29 年 8 月から、路線別(便別・バス停別)の利用状況を把握

- ・これまで路線別(便別・バス停別)の利用状況を経年的に把握できていなかった。
- ・利用状況を継続的に把握して利用促進に活かすとともに、施策効果の検証を行うため、乗務員の乗車記録にて利用状況の把握を行っている。

南丹市営バス乗車記録

運行シフト	日吉 1番-1	年月日	平成30年 月 日()	運転手
第1便 世木線				
車番	日吉駅行			
停留所	時間	乗	降	
上谷	7:35			
中谷	7:37			
下谷	7:38			
小道津	7:41			
殿田中学校前	7:44			
日吉駅	7:45			
中央保育所	7:46			
計	-			
第2便 美山園部線				
車番	美山行			
停留所	時間	乗	降	
日吉駅	7:53			
殿田町	7:54			
教会前	7:55			
大町	7:56			
片野	7:57			
新し	7:58			
下又林	8:32			
又林	8:33			
花ノ木	8:34			
下平屋	8:35			
上平屋	8:36			
旧診療所前	8:37			
安掛	8:38			
学校前	8:39			
荒倉	8:43			
大内	8:44			
内久保	8:45			
上久保	8:45			
南	8:47			
北(かやぶき)	8:49			
定ヶ谷	8:50			
下中	8:51			
会館前	8:52			
知見口	8:52			
旧知見小学校前	8:53			
計	-			
板橋	11:11			
海老坂	11:12			
谷口	11:13			
原	11:14			
上佐々江	11:24			
北谷口	11:25			
佐々江	11:25			
中佐々江	11:26			
下佐々江	11:28			
市谷	11:29			
井上谷	11:30			
東谷	11:31			
殿谷	11:32			
診療所前	11:33			
四ツ谷	11:34			
五反田	11:35			
室	11:36			
吉野辺	11:37			
田原	11:39			
保育所前	11:40			
下殿村	11:41			
和田	11:41			

図 7 乗務員の乗車記録例

- ・路線別・月別にみると、観光利用が多い美山園部線の利用が最も多く、2月の降雪時期をピークに秋～冬季の利用が多い。
- ・地元利用の多い五ヶ荘線や大野線、鶴ヶ岡線は月変動が小さい。
- ・デマンド便は、知見線以外のご利用がほとんどない。

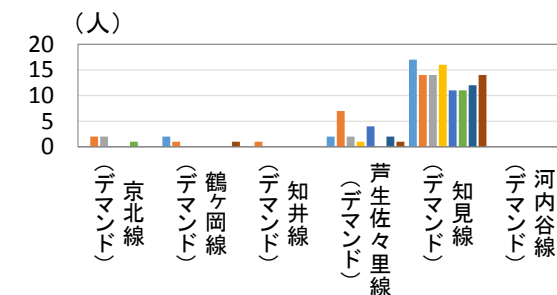
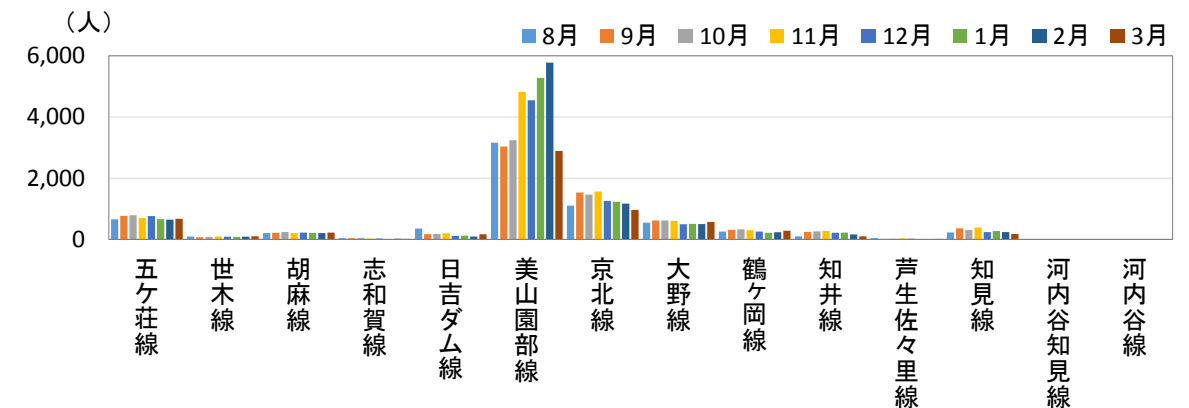


図 8 路線別・月別の利用者数の推移

■南丹市営バス及び南丹市デマンドバスの実態調査(日吉・美山地域) 報告書〔概要版〕

3. 利用状況の把握〔実態調査の実施：美山園部線、五ヶ荘線〕

○調査の実施

- ・利用者数が多く観光客の利用もある美山園部線、運行区間が重複している五ヶ荘線において、実態調査を行った。
- ・5月14日(日), 15日(月)の2日。



図9 調査路線

【五ヶ荘線：平日】

方面	区間	時刻	利用者数	方面別計
上佐々江方面	日吉駅→上佐々江	06:35発	3	46
	日吉駅→上佐々江	07:53発	2	
	日吉駅→上佐々江	09:05発	0	
	日吉駅→上佐々江	11:00発	3	
	日吉駅→上佐々江	13:05発	1	
	日吉駅→上佐々江	15:00発	12	
	中央保育所前→上佐々江	15:58発	20	
日吉駅方面	日吉駅→上佐々江	17:20発	4	54
	日吉駅→上佐々江	18:10発	1	
	上佐々江→日吉駅	07:00発	10	
	上佐々江→日吉駅	07:45発	34	
	上佐々江→大学病院前	08:18発	3	
	上佐々江→日吉駅	09:35発	2	
	上佐々江→日吉駅	11:29発	2	
上佐々江→日吉駅	上佐々江→日吉駅	13:29発	0	54
	上佐々江→日吉駅	15:29発	2	
	上佐々江→日吉駅	16:35発	1	
	上佐々江→日吉駅	17:45発	0	
	上佐々江→日吉駅	18:47発	0	
	計			

図10 五ヶ荘線(平日)の利用者数

○美山園部線は観光利用が多く往復利用、五ヶ荘線は地元利用

- ・美山園部線：利用者数は平日127名、休日72名、高校生の通学にも利用している。観光利用が多いことから、往復ともにバスを利用している。
- ・五ヶ荘線：利用者数は平日100名、地元利用が多く、小学生の通学にも利用している。往復で利用者数が異なる要因は、片道が家族の自動車送迎と考えられる。

【美山園部線：平日】

方面	区間	時刻	利用者数	方面別計
日吉駅・園部駅方面	和泉→園部駅	06:40発	7	54
	和泉→日吉駅	08:04発	6	
	知見口→日吉駅	09:56発	0	
	知見口→園部駅	12:01発	1	
	知見口→日吉駅	14:56発	17	
知見口方面	知見口→園部駅	16:56発	23	73
	園部駅→知見口	08:01発	23	
	日吉駅→知見口	09:05発	5	
	日吉駅→知見口	11:00発	16	
	園部駅→知見口	13:29発	8	
	日吉駅→知見口	16:00発	9	
	園部駅→知見口	18:13発	12	
計			127	127

【美山園部線：休日】

方面	区間	時刻	利用者数	方面別計
日吉駅・園部駅方面	自然文化村→日吉駅	07:47発	5	37
	自然文化村→日吉駅	12:00発	10	
	自然文化村→日吉駅	13:55発	15	
	自然文化村→日吉駅	16:55発	7	
自然文化村方面	日吉駅→自然文化村	09:05発	19	72
	日吉駅→自然文化村	11:00発	8	
	日吉駅→自然文化村	15:00発	6	
	日吉駅→自然文化村	18:00発	2	
計			72	72

図11 美山園部線(平日・休日)の利用者数

美山園部線 平日 日吉駅・園部駅 方面行

乗車	降車	宮脇	海老坂	吉野辺	和田	日吉駅	曾我谷口	園部高校前	園部駅	計
和泉		0	0	0	0	4	0	0	0	4
佐本橋		0	0	0	0	0	0	0	1	1
松ヶ瀬		0	0	0	0	0	0	1	0	1
北(かやぶきの里)		0	0	0	0	15	0	0	3	18
上平屋		2	0	0	1	5	2	0	10	20
花ノ木		0	0	1	0	0	0	0	0	1
宮脇			1	0	0	4	0	0	1	6
診療所前		0	0	0	0	1	0	0	0	1
和田		0	0	0		1	0	0	0	1
鶴ヶ岡		0	0	0	0	0	0	0	1	1
計		2	1	1	1	30	2	1	16	54

図12 美山園部線(平日)のバス停別の利用者数

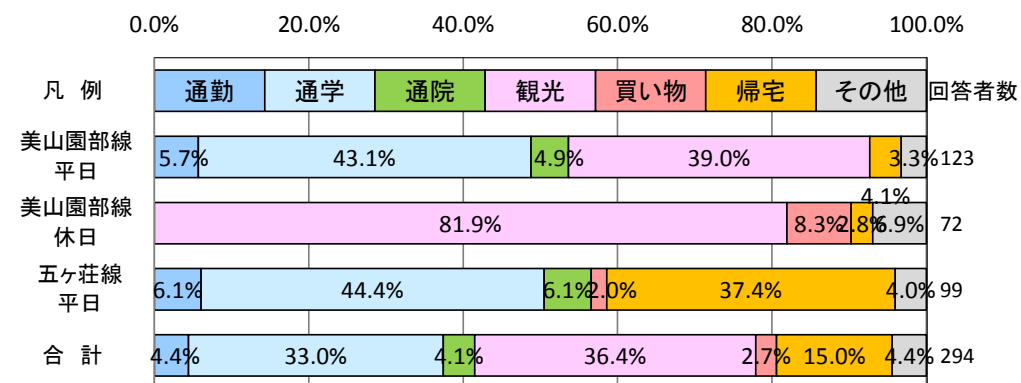


図13 バス利用の目的 ※無回答除く

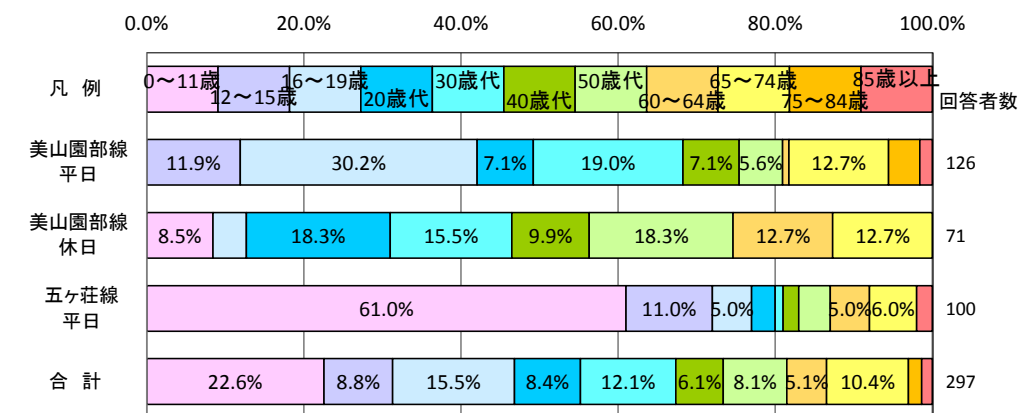


図14 バス利用者の年齢 ※無回答除く

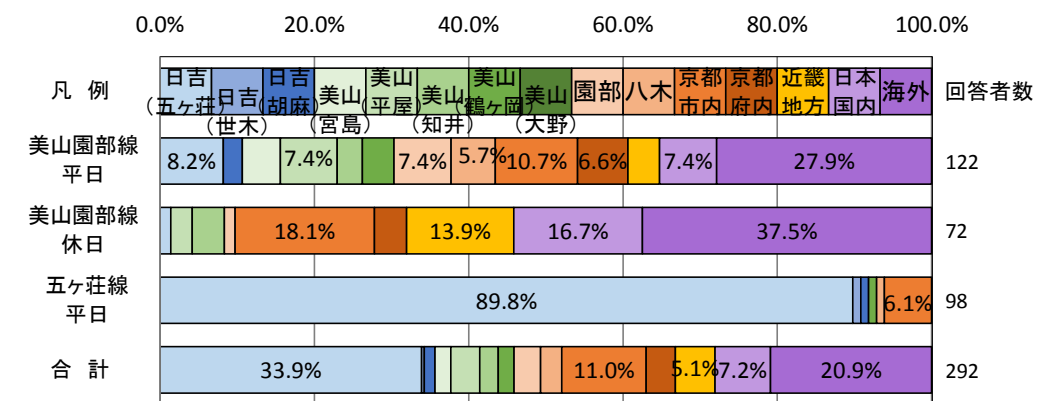


図15 バス利用者の居住地 ※無回答

南丹市営バス及び南丹市デマンドバスの実態調査(日吉・美山地域) 報告書〔概要版〕

4. 潜在的ニーズ調査〔沿線人口〕

○調査の実施

- ・延長が長い美山園部線の総人口が最も多いが、1 kmあたりの総人口は、人口が集中しているエリアを運行する胡麻線が最も多い。
- ・胡麻線沿線や志和賀線沿線では65歳以上の高齢者が増加傾向、五ヶ荘線沿線は75歳以上の高齢者が増加傾向、世木線、河内谷線、日吉ダム線沿線では、高齢者が減少傾向にあるなど、沿線により人口構造が異なる。

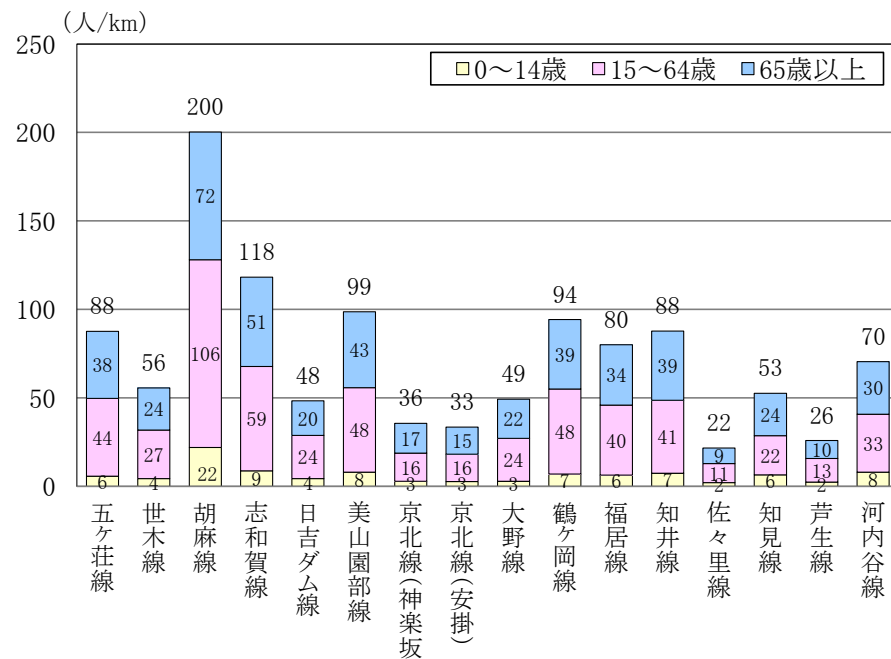
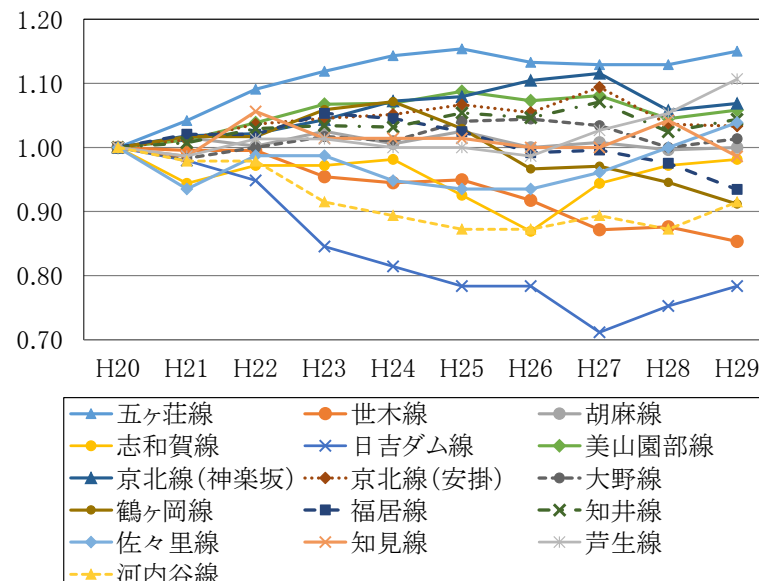
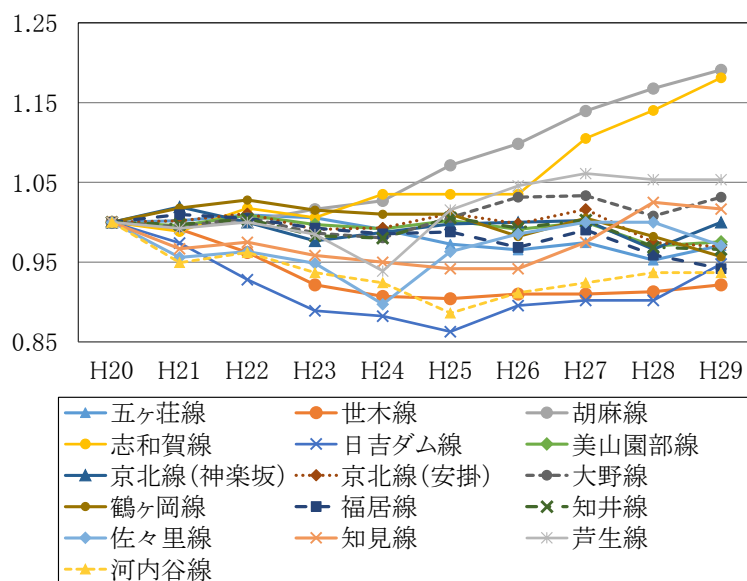


図 16 路線別の沿線人口



5. 潜在的ニーズ調査〔関係者ヒアリング〕

○明治国際医療大学

○明治国際医療大学通院者の利用

- ・患者の多くは自動車アクセスである。園部の方は、南丹病院への通院が多い。美山の方は、明治国際医療大学へ通院している。
- ・美山からのバス利用者は、美山園部線を利用し、日吉駅で乗り換えている。そのため、現在日吉駅止めとなっている路線を、大学病院まで延伸して引き込んでいただけると患者の支援となる。
- ・昼に帰れる便があると患者には良い。

○北桑田高校

○土曜日の利用

- ・土曜便の午後の京北線を1本増やしてほしい。土日も、午前に講習、午後には部活動等で生徒が通学する。土曜の13:51を逃せば、18:40までバスが無い。
- ・上佐々江での接続を改善してほしい。
- ・日吉駅から京北病院前までの直通便があれば何よりである。高校までの交通利便性が大きく向上するし、新入生徒募集にも効果的である。
- ・バス利用の生徒の定期割引制度を実施できないか。

○交通事業者

○デマンドタクシーの周知強化

- ・デマンドタクシーの課題としては、住民に周知が徹底されていないことがあげられる。デマンドを理解していない方が多い。周知を徹底することで、新しい利用が期待できる。

○地域でのニーズ調査

- ・もう少し地域に入って、不便なことを住民にお聞きする必要がある。デマンドの沿線には、買い物する店舗がないため、駅や医療機関へ行くだけである。もっとニーズ把握することが必要である。

○バスとデマンドタクシーの連携

- ・バスとデマンドは一長一短であり、競合ではなく連携することで、更に便利にすることができる。運行ダイヤや運賃など連携してはどうか。

○バスの周知強化

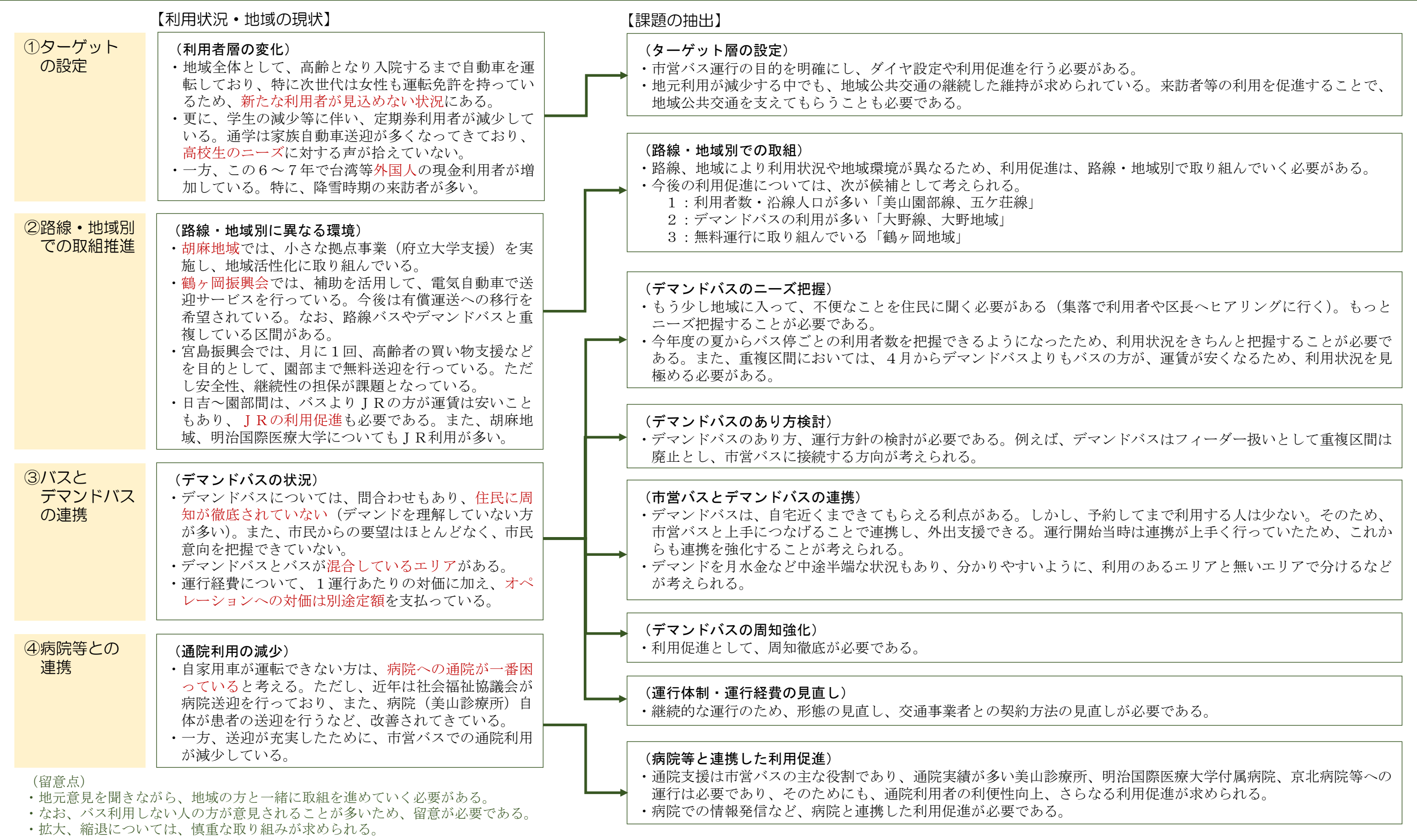
- ・市営バスは高齢者の利用が多いが、時刻表は字が小さすぎるため、とても見にくい。利用しやすくする必要がある。

○観光協会

- ・日吉駅から多くの方がバスをご利用になるが、運転手や駅員の案内で混乱等はない。園部駅は改札口とバス停が遠く、乗客への案内ができていない。
- ・日吉駅発美山行きが、9:05の次が11:00となるので、間に1本ほしい。
- ・バス車内で案内がないため観光客は不安である。日本語と英語でテロップを流して案内してほしい。

■南丹市営バス及び南丹市デマンドバスにかかるバス交通活性化事業(日吉・美山地域) 報告書〔概要版〕

1. 利用状況の分析、課題の抽出



■南丹市営バス及び南丹市デマンドバスにかかるバス交通活性化事業(日吉・美山地域) 報告書〔概要版〕

2. 改善点の検討、実施事業の検討

①公共交通のあり方検討

(公共交通の方向性)

- ・幹線は「路線バス」、支線は「デマンドバス」・「地域運行」でネットワークを形成する。(路線バスとデマンドバスは区間・エリアの重複なし)
- ・幹線の「路線バス」においては、次をコンセプトとして設定する。
 - ・分かりやすいパターンダイヤをめざす。
 - ・利用者の多い美山園部線を増便して強化する。
 - ・効率的な運用ができる場合は、統合するなど効率化を図る。(美山園部線と五ヶ荘線の重複を省くなど)
- ・「デマンドバス」と「地域運行」の峻別について、「地域運行」の意向を自ら示した地域には、インセンティブを付与する形で連携を図る。
- ・利用者の費用負担については、「デマンド>市営バス>地域運行」とする。
- ・なお、地域によっては、タクシー券の活用も視野に入れる。
- ・その他、将来的には、専用スクールバスを廃止し混乗することも考えられる。

(実施に向けた検討課題)

- ・「デマンドバス」の運行ルート、ダイヤ、運行形態の見直しが必要である。
- ・利用者が限る公共交通の維持は必要であるが、利用者数が極端に少ない地域もあるため、曜日を限定することも考えられる。その場合は、必要な時間や曜日を十分にリサーチする必要がある。
- ・向山集落、肱谷集落、長谷集落、盛郷集落など、現状においてバスサービスがない地域について、今後要望があった場合、どこまで対応するか検討が必要である。
- ・「地域運行」については、地元が頑張っている地域にインセンティブを付与できるような仕組みが必要である。
- ・今後の検討にあたっては、一人当たりのコストを算出して比較するなどが考えられる。
- ・また、安全性、継続性の担保についても課題である。
- ・スクールバスについては、教育委員会等との調整、保護者の合意などが必要である。

②料金体系の改善

(料金体系に関する課題)

- ・利用する便によって乗継バス停が異なるため、同じバス停から同じバス停までの利用で、異なる運賃になる場合があるなど、分かり難い運賃体系である。
- ・乗継割引を実施しているが、対応バス停がいくつもあり、乗務員もおつりなどの収受が大変手間である。
- ・そのため、利用者には分かりやすい、乗務員には対応しやすい料金体系に変更する必要がある。

(検討の方向性)

- ・利用者増加のための運賃値下げではない＝現状利用者にコストを抑えて移動してもらうことが主目的である。(現状維持を目標としてはどうか、利用者増加のためには他の取組を実施する)
- ・地区で区分したゾーン制とする。(150円、300円、500円など)
- ・観光利用は変動するため、地元利用者をベースに検討を行う。市民と観光客で運賃設定を変える方向で検討する。その場合、許可証について、乗務員の負担、運用上の問題について検討が必要である。
- ・現在の利用状況より最高増減、最低増減、平均増減など把握し、最低運賃、上限運賃について検討を行う。
- ・1日乗車券は、観光客が利用することを想定する。
- ・一定条例に定める必要があるため、内容を精査し、ある程度自由度のある方法で検討を行う。
- ・料金体系の改善にあたっては、園部、八木地域の公共交通運賃についても、視野に入れておく必要がある。

改善点・実施事業検討のため乗務員ワークショップを開催



③ダイヤ、バス停名称の改善

- ・五ヶ荘線・美山園部線の利便性向上、運行の効率化(重複区間の解消、増便等)
- ・日吉駅での適切な乗換時間の設定
- ・周遊観光の促進のため、スプリングひよしへの経由便の増発
- ・京北病院への乗入(将来的には、京北病院の折り返し運行も可能となる)
- ・高校生の帰宅便の考慮
- ・施設名とバス停名の統一

④職場の環境改善

(知井事務所)

- ・事務所スペースの確保、休憩室の拡大、設備補強など環境改善
- #### (美山事務所)
- ・日曜日の電話転送など(日曜日には事務所に誰もいない時間帯が生じている)
 - ・休憩場所の仕切り設置など環境改善
- #### (今年度の実施事業)
- ・可能な範囲で簡易に実施できる内容から改善

⑤時刻表など案内の工夫

- ・分かりやすい時刻表の作成(運賃も含めて案内)
- ・集落ごとの時刻表の作成
- ・主要バス停での案内の工夫(北(美山かやぶきの里)など)
- ・登山客への案内：芦生線観光デマンドでの利用促進

⑥その他の取組、アイデア等

- ・高齢者の運転免許返納の推進
- ・市職員のバス利用促進(職員WSの開催、自動車通勤者の駐車場有料化、職員の市民バス取得の促進など)
- ・京北線：高校生デマンド運行(夏休みの部活動)
- ・フリー乗降区間の設定
- ・運休日の変更(年末・正月休みやお盆の期間のダイヤ検討)
- ・バス停の改善(照明設置、上屋設置、バス停の向き確認等)
- ・運行経路での走行環境の改善

■南丹市営バス及び南丹市デマンドバスにかかるバス交通活性化事業(日吉・美山地域) 報告書〔概要版〕

3. 事業の実施

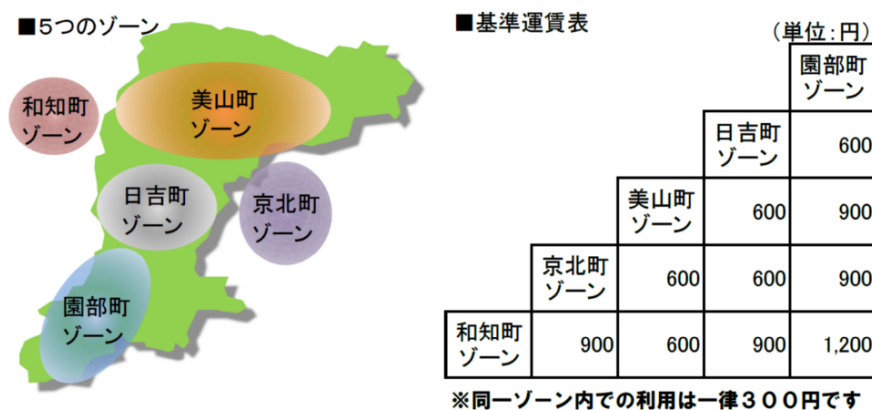
①ダイヤ改正

- 平成30年4月1日にダイヤ改正を実施(改正のポイント)
- 美山園部線と五ヶ荘線を統合することで、美山園部線の便数を拡充
 - ※平日の便数を2倍へ、土日の便数も1.5倍へ
 - 月曜日～金曜日 6往復から12往復
 - 土曜日 6往復から9往復
 - 日曜日 4往復から6往復
- 美山園部線において、覚えやすいパターンダイヤの採用(スクール利用便などを除く)
 - ※例:10:00発の次の便は11:00発など
- 平日の美山園部線の昼の便を日吉駅止から明治国際医療大学付属病院の玄関乗入に変更し、通院の利便性を向上
- 平日の京北線の一部を京北病院玄関口まで乗り入れるルートに変更し、通院の利便性を向上
- 日吉駅で鉄道との乗換時間の短縮
- 京北線と他路線の接続等を見直し、北桑田高校生の通学に配慮
 - ※日吉駅方面へのアクセスを向上
 - ※土曜日15時台帰宅便の創設
- 日曜祝日の美山園部線の全便をスプリングスひよし経由とすることで、かやぶきの里からスプリングスひよしへのアクセスを向上
- 日曜祝日の大野線の起点を和泉から宮脇に延伸し、美山園部線との接続を実現
- これまでの火・木のみといった曜日限定の便を無くし、月～金、土、日祝の3パターンとして毎日運行
- 利用の少ない枝線の一部を車内デマンド方式として無駄を排除
- 知井線、美山園部線等の平日便の起点を知見口から学校前に変更することで、地域の拠点施設となる知井小学校跡地へのアクセスを向上

②料金体系改正

- 平成30年4月1日から、南丹市営バスの運賃体系をこれまでの距離制からゾーン制に移行
- 割引バス発行:事前に交付を受けた割引バスを運転手に提示すると区間料金が半額になる特例(市民、学生)

ゾーン制のイメージ図及び基準運賃表



南丹市営バス割引バスについて

平成30年4月1日からの南丹市営バスの運賃体系の改定に先立ち、2月1日から南丹市営バス割引バスの発行を行います。運賃が半額になるお得な制度ですので、お早めにご手続きをお済ませください。

＜交付対象となる方＞

- 南丹市内に住所のある方
又は
- 南丹市内に立地する学校に在籍する中学生以上の方
(学校教育法第1条に規定する学校)

＜手続きに必要なものなど＞

- 【必要なもの】運転免許証や学生証など対象者であることが確認できる公的な書類
- 【交付手数料】300円
- 【受付場所】本庁地域振興課、各支所地域推進課、美山町各振興会
- 【受付時間等】午前8時30分～午後5時(閉庁日を除く)

③バス情報の案内充実

- 明治国際医療大学付属病院での案内
- 市営バスで通院できるように、具体的な時間帯、運賃、乗換バス停を整理し、病院待合室に掲出

曜日・料金	知見口 (自然文化村)	北 (かやぶきの里)	安掛 (道の駅付近)	宮脇	日吉駅	鍼灸大学前 駅	国際医療 大学病院
月～金	6:24 市営バス(知井線・宮脇行き)	6:27	6:38	6:46	7:12 (250円) 市営バス(美山園部線・園部駅行き)	7:41 (410円) 市営バス(美山園部線・日吉駅行き)	7:44 (140円) JR(山崎本線・福知山行き)
月～金	7:46 市営バス(知井線・和泉行き)	7:49	8:00	8:08	8:39 (250円) 市営バス(美山園部線・日吉駅行き)	8:41 (410円) 市営バス(美山園部線・日吉駅行き)	8:48 (150円) 市営バス(胡麻線・国際医療大学病院前行き)
月～金	9:56 市営バス(美山園部線・日吉駅行き)	9:59	10:10	10:18	10:47 (660円) 市営バス(美山園部線・日吉駅行き)	10:52 (140円) JR(山崎本線・福知山行き)	10:55 (140円) JR(山崎本線・福知山行き)
月～金	12:01 市営バス(美山園部線・園部駅行き)	12:04	12:15	12:23	12:49 (660円) 市営バス(美山園部線・日吉駅行き)	12:56 (140円) JR(山崎本線・福知山行き)	12:59 (140円) JR(山崎本線・福知山行き)
月～金	14:56 市営バス(美山園部線・日吉駅行き)	14:59	15:10	15:18	15:47 (660円) 市営バス(美山園部線・日吉駅行き)	15:56 (140円) JR(山崎本線・福知山行き)	15:59 (140円) JR(山崎本線・福知山行き)
月～金	16:56 市営バス(美山園部線・園部駅行き)	16:59	17:10	17:18	17:44 (660円) 市営バス(美山園部線・日吉駅行き)	17:58 (140円) JR(山崎本線・福知山行き)	18:01 (140円) JR(山崎本線・福知山行き)

主な料金 ●JR嵯峨野(山陰)線…日吉駅-鍼灸大学前駅 140円
●市営バス…【美山園部線】日吉駅-北 610円/日吉駅-知見口 660円/日吉駅-宮脇 410円
【胡麻線】日吉駅-鍼灸大学前駅・病院前駅 150円
【京北線】宮脇-和泉 150円 / 【鶴ヶ岡線】和泉-鶴ヶ岡 150円
【知井線】宮脇-安掛 150円 / 宮脇-北・知見口 250円

○新ダイヤに対応した時刻表の全戸配布

2018年4月1日～
この日からより便利になりました!
南丹市営バス時刻表

5つのゾーン 基準運賃表

月～土 胡麻・世木地域 P1～2
月～金 和井・平屋・五ヶ荘地域 P3～4
土 和井・平屋・五ヶ荘地域 P5～6
月～金 鶴ヶ岡・大野・宮脇地域 P7～8
土 鶴ヶ岡・大野・宮脇地域 P9～10
日・祝 日吉・美山地域 P11～12
日吉地域デマンドバス P13
美山地域デマンドバス P14

南丹市営バス運賃 0771-68-0019
市営バスに関するお問い合わせ 0771-72-0747
市営バス(美山園部線) 0771-75-1666

■南丹市営バス及び南丹市デマンドバスにかかるバス交通活性化事業(日吉・美山地域) 報告書〔概要版〕

3. 事業の実施

④小学校での交通学習

- ・南丹市立殿田小学校4、5年生(36名)を対象に実施
- ・平成30年2月22日(木) 5限目～6限目
- ・目的

- ①バスなどの、公共交通の利用経験の獲得
- ②(交通を通じた)地域社会への認識を深めることによる社会性・主体性の向上
- ③地域を走るバスを学ぶことによる地域社会への意識づけ
- ④乗車時のマナー等を学ぶことによるマナー意識の向上
- ⑤運転席からの死角を知ることによる交通安全意識の向上



初めて知ったことは何？

はじめて「公共交通」という言葉を知って、いろいろ便利ということが分かった。

バスの利用者が減少していることを初めて知った。

車椅子が乗れることを知った。もしお年寄りやベビーカーの人が乗ってきたら席を変わってあげたい。

運転席の鏡の数が多かった。

バスの運転席にも死角があることを知った。

バスの乗り方を初めて知った。

地域によって乗り方やお金の払い方がちがうことを知った。

インターネットで宣伝する。大きい看板を作る。

バス停を増やして、色々なところに止まれるようにする。

皆が行きたいところをおすすめする。

バスに楽しいイラストを描く。バス停に絵を貼ればいい。

バスをオシャレにする。イスをもっとふかふかにする。

運賃を安くする。

割引の日を作る。

バスのイベントを作る。

子どもたちが「バスに乗ってみてください」と言う。

バスの中で、お店を作る。自動販売機を入れる。

どうしたら、バスを沢山の人が利用してもらえる？

⑤検索システムの活用

- ・NAVITIMEへバスダイヤの情報提供を行い、スマホやパソコンでのバスダイヤ検索サービスの提供を開始



⑥運行管理の改善

○乗務員シフトの改善、今後の方向性

(現状と問題点)

- ・1日に7時間30分、カレンダー通りの労働時間であり、月給制である。ただし、拘束時間が長い上、昼間に空き時間等が生じる。この空き時間をどのように過ごしているのか、待機時間としなければならないのか、整理・確認が必要である。
- ・運行管理業務において、各事務所で雇用を増やして**点呼専門の人員を配置**するなど、昨年当初から点呼をしっかりとるなどの取組をはじめている。

(改善策)

- ・運輸支局、労働基準監督署への相談を行い、**現状の運行体制で問題がないことを確認**した。

○利用者数の把握体制の改善

(現状と問題点)

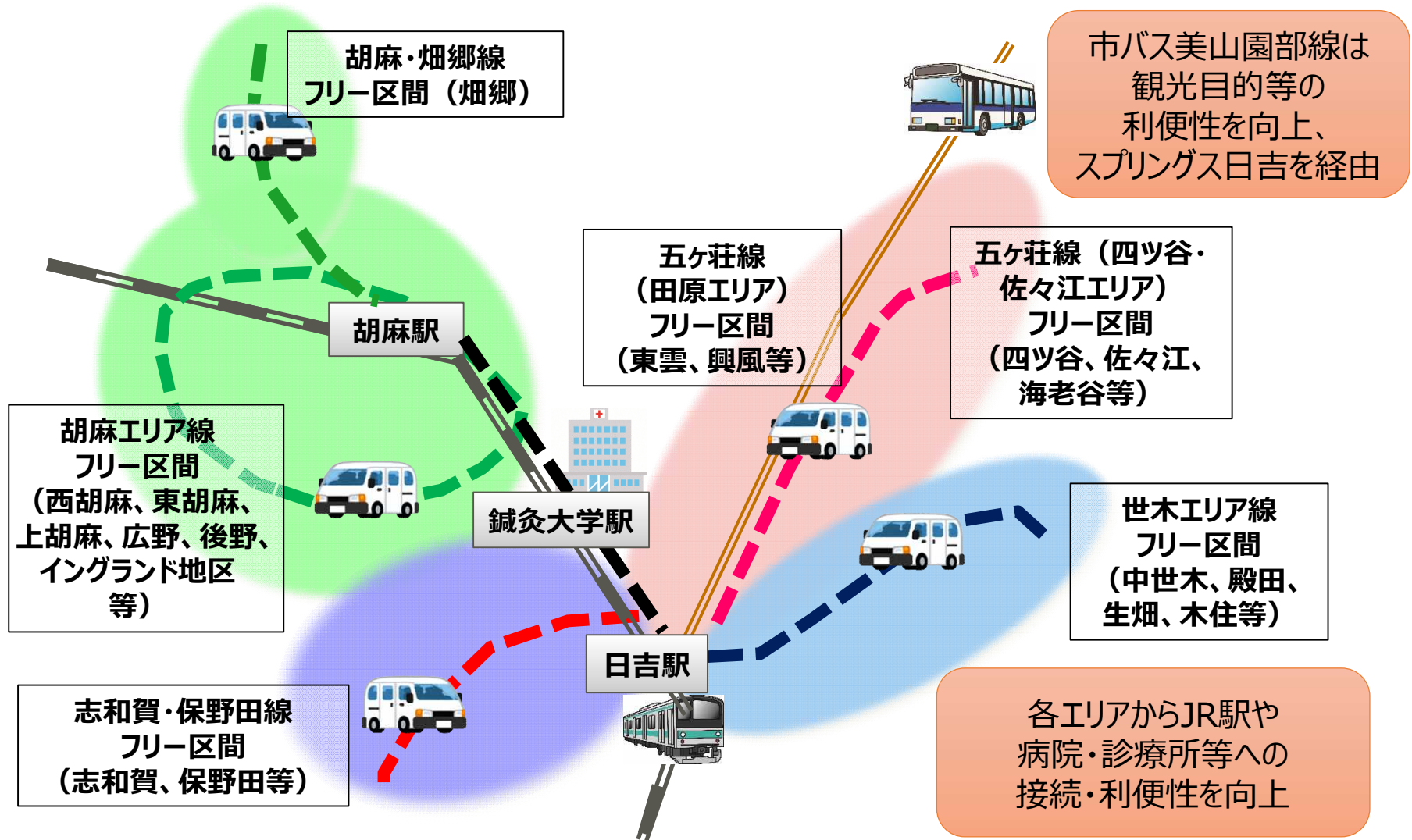
- ・現状では、便ごとに利用者を把握しており、バス停ごとの利用状況が把握できていない。
- ・日吉事務所と美山事務所で日報の様式が異なるため、取得情報が異なる。

(改善策)

- ・南丹市営バス及び南丹市デマンドバスの全便において、**利用状況を継続的に把握**するため、8月1日から乗務員にバス停ごとに乗車記録をつけてもらい利用状況を把握することとした。
- ・**日吉事務所と美山事務所で統一した様式**としている。

日吉地区公共交通の改善イメージ図

観光需要も見込んだ定時運行の路線バス（市バス美山園部線等）と、主要乗降場所に停車する区間と予約に応じて迂回する「フリー区間」を組み合わせた、予約時のみ運行する「デマンド型バス」に改善する



9章 今後の展開について

日吉地区の公共交通の将来像を作成するにあたり、現状認識と市が行った調査・活性化事業、事業所調査、市民の声を基に今後の展開を示すこととした。

日吉地区は、市営バスとデマンドバスの路線が重複するなか、市営バスは空車の状態で走り、デマンドバスは、八木・美山地区の当日予約と異なり、前日までの予約で、中世木線・生畑海老谷線は「火・木」、胡麻線・志和賀線は「月・水・金」の限定運行で、利用者の視点で利用しづらい状況にある。

平成27年に実施された路線バス交通に関するアンケート調査では、「住民の移動手段の確保と利便性向上という2つのニーズを持続可能な形で満たしていくためには、路線バスという事業形態にこだわらずに公共交通のあり方を検討すべきである。」(抜粋)と示された。

また、平成29年に実施された南丹市営バスおよび南丹市デマンドバスにかかるバス交通活性化事業(日吉・美山地域)では、「公共交通の運行にあたっては、利用者の多い美山園部線とその他路線について運行方法を変えることとともに、運行内容は柔軟に調整する必要がある。また、デマンド方式の運行について既存のデマンドバスは抜本的に見直すべきと考えられる。」(抜粋)と示された。

本事業では、2つの事業が示す改善に対する視点を基に、市民の声、公共交通を担っている事業者・市営バス日吉バス事務所・南丹市社会福祉協議会・教育委員会のご意見と併せ、南丹市地域公共交通会議・庁内企画会議を経た協議結果を基に、ひよし農の郷づくり協議会交通部会は市民の視点で、高齢の利用者・ふれあい委員さま、夢を持つ小学生を対象としたワークショップの声を基に作成された「住民の皆さまと共に考えた交通手段」を活かして、今後の展開を探ることとした。

公共交通は、既得権を持つタクシー事業者と市営バス、福祉有償、スクールバスを一体的にとらえ、市民の移動手段と観光客を招き入れる方策が不可欠であるが、人口減少と市の財政負担を考える中で、利便性の向上と財政負担の両輪で検討をした。

美山地区の移動手段と観光客の移動を担う園部美山線の改善と、日吉地区内の移動手段を分離するとともに、日吉地区内を5つのエリアに分け「オンデマンド方式」を基本に、重複による財政負担と既得権を考慮する視点で設定したエリアをそれぞれの事業者に委託して、利便性の高い交通手段を確立させることとする。

持続可能な交通手段の検討は、自治法が示す「最小の経費で最大の効果」と利用者の視点であることを忘れずに交通事業者及び関係機関との協議を図られ、早期の実現を願望する。